(一) 號五十三百二千四第 (日曜月) THE KEIJO NIPPO 日四十月七年八正大 (可認物便郵種三第日八月九年九十三治明)

京城日報

(年中無休刊)

本紙定價 一部金五錢 一箇月金七十五錢

廣告料金 五號十四字詰一行一圓五十錢

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番

七月十三日夕刊（朝刊併せて八頁）

最高會議調印促進
支那列國の共同的援助期待

巴里に於ける最高會議は不調印問題に關し支那の勸奪を促せる旨陸徵祥氏より報告達したるに對し北京政府は未だ何等訓電を發し居らざるも大體に追調印の止むを得ざるを認め居れるもの如し現に十日發表せる大總統の書簡に見るも追調印を認むる節なきに非ず唯支那は國內の輿論緩和に對し何等か列強の共同的援助を期待し居るもの如し（北京電報）

支那委員と對墺調印

支那講和委員は曰く支那は獨逸との條約に調印するを拒絕せるも墺國との條約には調印すべく斯くして國際聯盟に加入の意を發表すべしと（巴里電報）

佛對伊反感熾烈

フユーメに於ける擾亂の際佛國軍隊は死者十名負傷者三十名を生ぜしが伊太利の處置に對する反感は絕頂に達し遂に佛國兵は伊國々旗を引裂くに至れり（倫敦電報）

英國內閣改造か
來る十一月總選擧々行

英國政府は發表して曰く政府は來る十一月を期して總選擧を行ひ且つ內閣の改造を行ふべき企圖を有すと（倫敦電報）

蘇城過激運動擴大
我軍に依りて討伐に決す

蘇城方面の過激派は最近各方面に出動の手を擴げ鐵道從業員は同盟罷業の宣傳を爲せる形跡あり守備米軍に於ても過激派討伐に從ひ小衝突ありたる如きも効果あらず遂に我が軍司令官に依つて討伐するに決し八日我が軍艦は出動部隊を乘せて烏蘇里灣を出發し九日無事軍隊を亞米利加灣に上陸せしめたるが上陸せし出動部隊は十日蘇城に向け前進せり因に我が軍の兵力は各種混成數個大隊なりと（浦鹽電報）

陳唐莊暴動猖獗

十日天津の南方約三十支里の陳唐莊に於て龍濟光部下の振武軍は給料不拂の爲め暴動を起し勢猖獗なりとの報あり鎭壓の爲北京より約一千の官兵急行せり（北京電報）

孟晋京を肯んぜず
境界の防備を嚴にす‼張萬一に應ずべく戰備を整ふ

張孟兩將軍間の軋轢は中央の命令に依り先づ一段落を告げたるも其後孟氏晋京を肯ぜざる者の如く一面奉天との境界防備を嚴にしつゝあるもの如ければ張氏も亦萬一に應ずべき覺悟を以て部下軍隊首腦者を召集すると共に中央に對し討伐命令の宣布を請ひ且つ二十七師中の步兵第百七團外騎工輜重等にて混成一旅を組織し命令一下何時にても出動し得べき準備を整へつゝあるもの如し

孟張眞意如何
奉吉兩省の紛擾漸次濃厚と

時に吉林方面より挑戰的態度に出づるなきを保せざるも張巡閱使に於ては既に東三省の軍權正に統一され己が掌中に收めたる事とて此際決して輕擧せずされば現今の紛擾は或は孟張兩氏の眞意には非ざるべく要は彼の高士儐中將の劃策に基づくなるべく或は此の三者の間に相當の諒解あつてのことには非ざるべきか兎に角高中將の位置滿足に保障せらるゝに於ては此の際東三省の紛紜は靜穩に歸すべしと觀測さる（奉天特電）

長谷川總督參內

高中將謀叛か

孟氏は吉長鐵道に對し十三日貨客車一輛及び普通列車二輛の用意を命じたりとのことなるが或は形勢一轉し中央の命を奉じ晋京するに非ずやとの說あり尤も部隊及び軍器彈藥等續々長春に密し且益々軍備を加へつゝあるに徵すれば是は高士儐中將が孟氏に代りて全責任を帶び叛旗を飜さんとする計畫に非ずやとも觀測さる兎に角前後の形勢より見て吉軍が何等爲す無く此儘軍を收めて中央の命に從ふや否や遽に信を置き難し又一報には奉天方面の形勢俄に緊張し既に各所駐屯の部隊全部に亘り動員命令下りたりとのことなるが孟氏愈々干戈を交ゆるに至らば長春に出馬し此處を根據として奉天軍に當る可しとも觀測さる

孟恩遠部下を戒告せず

十日鮑貴卿氏より孟氏に宛て『今回不肖中央の命に依り吉林督軍を命ぜられ近く赴任すべきに就き貴下の部下に對し貴下同樣信義を盡さんことを傳へられ度し』との來電に對し孟氏は『貴下今回の榮轉を祝す余の轉任に就ては部下多數に反對あり市中亦種々の流言蜚語行はれ既に教育廳長、實業廳長等家族と俱に長春に避難したり余の部下が貴下來任後も猶ほ動搖すべき模樣あるや甚だ遺憾とす』との返電を發し部下を慰撫戒告するが如きことは全く無かりしと聞く

時局解決電告

十一日吉林各團體は省議會に會合協議を遂げたる結果省議會の名を以て中央に對し『今回の時局紛亂に依り省民動搖して其の堵に安んぜず孟氏を留任せしむるか或は適當の方法を講じて速かに省民の苦境を救へ』と電請し一方張氏に對し『公は巡閱使として三省の實權を握り居れるに非ずや速に最良策を講じ省民をして塗炭の苦しみより免れしめよ』との急電を發せり（長春電報）

伏見宮御通過

佐世保海軍工廠に於ける軍艦球磨進水式に御差遣の伏見中將宮殿下には十二日午前五時三十分御著關山陽ホテルに御少憩の後十時十五分鐵道院差廻しの清見丸にて御渡門佐世保に向はせられたり（下關電報）

馬中將奉天着

東邊鎭守使馬龍潭中將は張督軍に祝賀を兼ね重要なる用務を以て十二日朝來奉せり（奉天特電）

滿鐵職制變更と關東廳關係事項

既電滿鐵職制變更に關する重要事項中關東廳關係分は十日夜杉山事務總長來連會議に參列決定せるが細目は十一日午後決定十四日發表の筈（大連特電）

大井中將歸任

西伯利戰地狀況奏上の爲東上中なりし大井第十二師團長は十二日午前五時卅分著列車にて來關十時富士丸にて渡門歸任せり（下關電報）

代議士團南下

西伯利駐屯軍慰問を兼ね視察中なりし代議士團東武氏外十二名は十三日朝長春より來奉一泊各方面を視察の上南下歸東の途に就く筈（奉天特電）

國際聯盟と日英同盟

國際聯盟と日英同盟の關係如何は最も興味ある問題なるが吾人の見解を述ぶれば國際聯盟の企圖たるや歐洲大戰の極めて不良なりしに鑑み其缺陷を彌縫する爲め一時の應急策として造られたるものにして若し今次の大戰なかりせば斯る機關は實現せざりしなるべし從つて該機關の組織の如きも二三大國間に於て協定せられたるものにして缺陷多く斯る不備なる組織を以て永遠の世界的平和を夢みるが如きは恰も木に緣つて魚を求むるの類なるべし即ち今次の大戰たるや其……する爲めに出來たるが即ち今回の國際聯盟の趣旨にして之を全世界の永遠的平和より考察せば餘り信賴すべからざる寧ろ無價値無權威に等しきものなりとが爲め中立國側にては不平頗る多く瑞西の如きは聯盟加入を拒まんとし伊太利亦脫退の意思ありと傳へらる從つて斯かる不完全なる一時的彌縫策が二十年の長き歷史を有する日英同盟に影響を來すが如きは思ひも寄らざる處にして該同盟は依然極東平和の中軸として將來的確健全に繼續せらるべく之が爲め其効果を減却するが如きは斷じて之莫るべし之を講和會議の實際に見るも英佛は更に國際聯盟の上に獨新同盟を組織し米國亦聯盟中にモンロー主義存在を是認せしめ居るに非ずや帝國外交は斯かる薄弱なる聯盟協約に依賴する事なく日英同盟は益々精神を擴充し更に進んで米、佛、獨、露、伊の諸強國と同盟を締結し將來の國際的孤立を未然に防ぐと共に世界の平和舞臺に於て優強なる地位を建設せざるべからずと確信す（某外事通談）

密漁取締改正
目下審議中

朝鮮に於ける漁業は水產物保護の目的を以て鯨族並に海獸漁獵以外には有毒物又は爆發物を使用する能はざる規定あり爆發物を使用する者に對しては從來當該官憲に於て之れが取締を怠らず違反者には夫々嚴罰に處しつゝあるも近年之れが犯行者益々增加し正當漁業者の利益を侵害し水產物の蕃殖を傷害することも甚大なるを以て之れが根絕を計る爲め現行の漁業取締規則を改正し且つ當該官吏は爆發物使用の嫌疑ある漁獲物に對しては何時にても之れを沒收し解剖に附し得るの一項を加ふること、なすべく目下當局に於て審議中なれば近く發布を見るに至るべし

海運界近狀

朝鮮海運界の近狀を聞くに盛夏の候に入りて出貨稍減退の模樣なれど地方資力の充實による購買力の旺盛は諸雜貨の荷動きを多からしめ例年よりも活勢を呈しつゝあり尙ほ橫斷航路並に內地航路には雜類多きもその他の沿岸航路は殆ど雜貨のみなりと

國際聯盟と日英同盟（承前）

重要問題

に關しては一應の意見を開示し居るが如きも之等の問題に關しては充分關係國と協調を保つ意嚮なりといふにあるが如き徹溫的のものなるが更に實業團銀行團の意嚮等種々なる事情のために茲に折衷的に如上の方針を決するに至りたる者の如し兎も角我政府の方針決定に依りて近く各國の態度決定次第具體的の交涉に入る筈なるが其の組織成否に關しては目下の處豫測し難きものありて前途

對支新借款問題曲折

對支新借款團組織に關する帝國政府の態度は諮問中なりし銀行團意見決定後閣議を急遽取纏め態度を決定し松井駐佛大使及び永井駐英出淵駐米兩代理大使宛訓令を發する所ありたれば松井駐佛大使は在巴里小田切、巽兩我財團代表者に新借款團組織に關する方針を指示したり而して帝國政府の

訓令內容

に關しては嚴秘せられ居るも曩に實業團の提示したる條件を銀行團が其政治的問題以外の經濟條項を是認したる關係上實業團の意嚮は政府に取て有力なる意見として取扱ふを要する事となり居たるが如く又我大藏省にては大體に於て夫と同意見なるに拘らず外務省內に於ける米國の方針に迎合す

る協調論のために兩者の間に乖離を生じたる結果政府の訓令は輿論を容るゝを得ず聊か不徹底なりしものと信ずべき理由あり左れば訓令の內容としては帝國政府が新財團に加入するに際し過去に於ける歷史的關係及び地理的關係上原則として滿蒙を除外すべきことの一項を主要點となし更に事業の性質、金額の制限既得權工業の公平分配等の諸

途尙幾多の曲折ありといふべく就中我加入の根本原則たる滿蒙除外問題に關して米國側に有力なる反對ある者の如く我當局者も此問題に關して如何なる程度迄强硬に主張を支持すべきやは疑問なるが爾餘の具體的問題に關しても我主張を貫徹すること極めて困難なる事情あり又財團組織に關し米國は

資者全部を網むること困難なる事情を開陳したりと報じ更に既得權に關してはタイムス紙の說解し居る所によれば既得權を排示するものは日本のみなりと報ぜり斯くの如きは常に

巴里會議

の決議を承認し最近に至り佛國は雲南廣西に於ける特殊の條件を留保して原則の承認を與へたるが如きも獨り英國のみは未だ何等政府の方針を決定するに至らず我政府の略者の說明に依れば英國政府は米國の提議の原則に贊成し巴里會議にも其代表者を出だして討議に參加したりと說くも五月十七日の倫敦タイムス紙の傳ふる所によれば英國代表者たるアデス氏は英國の投資團全部を代表するものにあらず寧ろ英國の財

外交問題

に關して半官報的に信賴せられ居る同紙の報道のことなれば一概に虛構と評し難きものあれば或は英國側はその既得權の提示を肯ぜるものにあらずやと解せらる況んや英國に於ては資投家を網羅すること依然困難にして之を政府が强制的に加入せしむることも不可能なる事情にあるもの、如ければ滿蒙除外問題が成立の前途に重大なる關係あると等しく其の態度も其難關の一たるべし

參衆兩院

議院に於いて支那に於いても反對の決議をなしたるが如ければ此の問題の前途は益々錯綜するに至るべし（東京）

京城麥粉昂騰

京城に於ける麥粉は內地の活躍に伴なひ過般來漸騰の氣勢を示せる中にも平靜を保ち鐵印五圓こなり尙上騰して六圓五十錢に至り內地高を移し一躍六圓二十二錢見當を唱へしが十二日に至り相當纏りたる口も唱ふるに至り相當纏りたるも惜みの態度にて前途七圓見當の現出を期待されつゝあるが內地高の原因は食料問題に伴ふ消費米の節約と自己經濟よりの高値の米を放置して安値の代用食料を求むる氣風を促進した結果麥粉の地方需要を急激に增加したると砂糖の思惑買により巨利を博したる手筋が更に麥粉に思惑を轉じ來りたる等にあり爲ろ鮮內に於て其高値移出の遲かりし感ある丈け急激の昂騰を來せるならんと

繭絲移出狀況
繭減少し生絲激增す

本年は絲價空前の昂騰に伴ひ蠶繭も亦未曾有の高値を呼びたるが製絲事業勃興の爲め鮮內の需要增前年に比し約二萬石增加したること本年は蠶繭の出廻り稍々

…額に於て二千四萬九千二百廿二圓即ち三割四分强の減少なり移出額を月別に表示すれば左の如し

▲家蠶繭移出表

月別	數量(斤)	價格(圓)
一月	六、六七二	二、六三三
二月	一〇、二八五	二一、八四〇
三月	二四、四〇四	三三、八四九
四月	一六、四六八	七六、五二九
五月	五七	五八、五七二
六月	七九、八四四	二〇、〇二〇
計	一三七、七三〇	三七四、六八九

（石二十三斤に換算すれば五千九百八十八石となる）

即して右の內六月分の新繭移出されたるものなるが前年六月の移出額五十八萬九千九百四十六圓なるに對し本年は僅に二十七萬五千九百餘圓にして三十一萬三千九百九十七圓の減少を示せり又生絲は上半期中に於いて二萬七千二百八十斤價格四十一萬八千九百三十六圓の移出を見たるが前年の十一萬四千一百八十五圓に比し三十萬四千七百五十一圓即ち二十六割七分の增加を示せり月別に表示すれば左の如し

▲生絲移出表

月別	數量(斤)	價格(圓)
一月	三、四〇四	五〇、九四四
二月	二、八九二	四二、〇五八
三月	五、八〇五	八四、〇〇四
四月	一、二〇三	一七、六五五
五月	一、七六九	四二、五〇七
六月	一、三一三	一八〇、〇〇八
總計	二七、二八六	四一八、九三六

以上の生絲は大邱片倉組、山十組、朝鮮製絲、京城恩賜授產製絲等の製出に係るものにして橫濱を經て米國に輸出されたるものなりと

東拓移民現況
道別と府縣別

朝鮮に於ける東洋拓殖會社の移民事業現況につき同社當局の談を聞くに目下の收容戶數第一種

…自作移民三千三百八十五戶第二種自作移民七十二戶合計三千四百五十七戶にしてその各道別は左の如く南鮮地方並に黃海道多きを占居れり

道別	戶數	道別	戶數
京畿	五四六	忠北	一〇一
忠南	二七五	全北	四八〇
全南	六〇八	慶北	四一三
慶南	六二九	黃海	四六七
平南	一四	平北	六
咸南	九	合計	三、四五七

移住民は募集今春渡鮮したる第九回年分募集戶數第一種九百四十戶、第二種六十戶、合計千戶に對し應募戶數千五百二十八戶（一種千百八十五戶、二種三百四十三戶）あり審查の結果五百九十八戶に對し移住を承認したるに內百十九戶（第一種百七戶二種十二戶）は本人の都合により移住を取消したるを以て承認戶數は結局四百七十九戶（內二種三十七戶）となり居れり更に移住民出身府縣別戶數は左の如く九州、中國方面頗る多し

府縣	戶數	府縣	戶數
佐賀	三九八	宮城	二
高知	三四三	兵庫	二
福岡	三二六	北海道	二
山口	二四四	島根	一
岡山	二〇六	京都	一
熊本	一七三	長野	一
香川	一四〇	奈良	一
廣島	一〇四	山梨	一
德島	一〇〇	靜岡	一
長崎	九八	千葉	一
大分	九三	富山	一
愛知	九一	茨城	一
岐阜	八五	栃木	一
愛媛	八二	滋賀	一
和歌山	七九	東京	一
福井	六九	大阪	一
新潟	六三	青森	一
三重	六三	秋田	一
福島	五五	群馬	一
鹿兒島	四七	岩手	一
鳥取	三四	神奈川	一
宮崎	三三	埼玉	二
山形	二九	石川	二
合計	三、四五七		

移住地の讓渡面積は水田六千六十町步にて一戶平均一町七反八畝に相當し畑は六百七十五町にして一戶平均一反九畝となりその價格は時價に比し極めて低廉にして一戶平均水田七百廿六圓畑五十三圓となり居れり尙ほ移住費貸附金の最近五年度末現在は左の如く漸次減率を示し居れり

年次	年度末貸附高	一戶平均
三年	一七八、五一八	六七
四年	二一三、一〇	七二、四一三
五年	二三〇、六七三	七五、〇四一
六年	二八、六二〇	六六、六〇四
七年	二〇、三三〇	六〇、八五〇

京城住宅問題解決策
銀行會社に望む

近時京城に住宅不足問題の喧しく唱へらるゝに至りし理由は下の三點より來てゐると思ふ乃ち（一）建築材料の騰貴せし結果家作不引合（二）限りに新家屋を建築するも永久に現在の如き高率の家賃を徵し得らるや否やの疑はしい事（三）諸官廳の吏員による官吏の增加並に銀行會社の增員殊に鮮銀殖銀の增員――乃で此對應策として（一）に於ては民間の資本家に委するも容易に埒は明くまい宜しく政府に低資融通を求めて公共團體の手により家屋を建築さるか鮮銀の如きに低資を貸出さしめ一定の管理を附した家屋を作らすかであるが之は

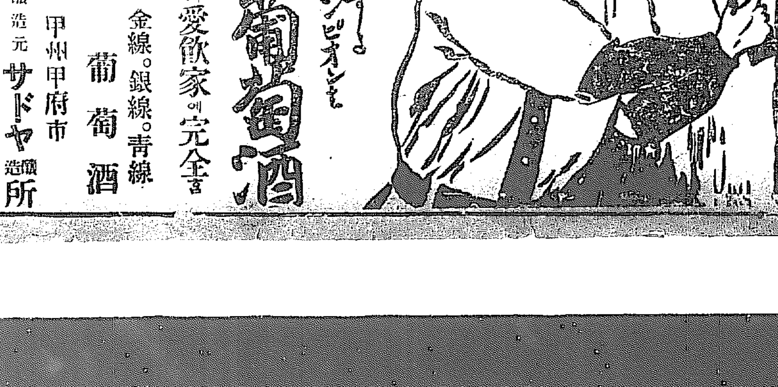
現在の如き京城の狀態では未だ容易に實現を見難からう乃で予は（二）並に（三）の對策として頗る好い解決策を提唱したいそれは鮮銀殖銀を初め三井物產朝鮮郵船その他の銀行會社で社宅の建築を急施する事であると若すれば京城の家屋には一千戶位の餘裕を來すであらう予は全部の銀行會社に之を求め樣とはせぬ朝鮮銀行殖銀三井朝郵の如き多數社宅の新營增築をなすも何等苦痛なき方面許りにても其實行をす、めたいさすれば建ただけのものは銀行會社により資產勘定に繰入る、事が出來るし永久に屆附を續ける行員や社員も社宅難に苦しまずにすむのである之等の方面は社宅を建增し若しくば新設しなくとも高い家賃を現に社員のために支出してゐるのである唯新築を多くすれば資金の固定は避け難いけれど有力方面で問題とするがものはなからうが京城の住宅不足問題は社宅の增加によつて解決されやう尤も官吏の新築も必要ではあるが役所の事、豫算が面倒であるから寧ろ民間に予は之れを勸めたい（某有力者談）

人事消息

▲岡本幸太郎氏（京田中學校長）十二日夜退城
▲木本房吉氏（辯護士）……十二日歸城

八面鋒

◆生活難の聲は到る處に聞く未だ當局の物價調節策を不可とするも調節策は增給の遣繰よりも尙ほ急務なるは勿論と知れ
◆增給も可也然ども救世の大本は物價調節にあり何故の躊躇ぞ
◆茲に於て之を富者に迫るとせに消費者亦一層の分別を要す
◆吾人は決して法外の節約を爲す野人は言はず但し貯金を增せよと
◆世間の風潮に隨ふ不知の間に無駄な事や贅澤等に財布を緩むる
◆多くの場合之を漫然と考ふるが故に本人は敢て怪まず
◆飯が喰へぬこて飯を喰はずに每日小言を云ひ得る譯は無し
◆飯が喰へずれば無力默して取込居る筈なるにも拘らず
◆飯が食へぬと云ひ乍ら風采を立派に裝ひ居る者も少からず
◆思ふに所謂飯が喰ぬとは世間並の裕福な生活出來ぬといふ意味か
◆或は流行に伴なつて行事の困難也との意味ならば不知
◆要するに一般日本の家庭は經濟思想の取り入れ方少しも
◆今日の如き大變の時代に於ては舊式な慣習に從ひ生活に隨ふる故に何時迄たつても行き當りばつたり
◆故に飯が喰へぬと悲鳴を上げるを生じて能率の發揮とは實に努力のみならず金錢物品にも當應さる
◆金や物を殺して使はず活かして使ふのが能率の發揮こと知れ
◆其能率を百パーセント迄發揮させ得るは工夫せよ然らば可
◆京城の給料者間にも近來如何はしき事を聞く故に一札斯く如し



縱覽御隨意
支那書畫骨董珍品貳千餘點
空前大競賣會
日時 七月十四日下見 十五日 午後一時より競賣
場所 本町二 競賣會社樓上
荷主 太田廣田倉次 京城松本竹次郎 同 松田初太郎
縱覽御隨意
京城競賣株式會社 電七八四番

謹告
當組合賣買手數料建米百石に付金六圓に仕舞金參圓に改定し本月十四日後場立合より實行仕り候
大正八年七月 日
仁川米豆取引所 仲買人組合

直輸入品着
耐久力無比使用輕快 翕然需用を喚起せり
アルミニューム 匙形ペン
英國ニュージランド ヒース會社製
第五回契約品荷着低廉 販賣店同業者各位へは特價
南大門通三和町 富田紙文具店
電話一三六一 振替一〇八八

內科 眼科 小兒科 肛門病 痔疾
京城黃金町三丁目(赤門通) 電車停留所前
院長 本田建
附屬 京城肛門病痔疾療院
入院隨意 電話二四四三番 振替京城一三八四番
痔疾特種注射根治療法解說書入用の方呈郵券十二錢
本田病院

揚つたく萬歳!!

偕行社の子寶會、澤山な坊ちやん孃ちやん達が本社寄贈の風船玉を飛ばして居るところ、左方白襟の人は宇都宮軍司令官、中央の軍服は宮地副官（十三日午前）

勞働者保護の爲

特殊裁判所を設置せよ

斯て始て解決を得べし

國際勞働法制定に對し我勞働狀態も根本的に改善する必要が生じ同時に民間でも治安警察法第十七條の廢止論が漸次喧傳せられ正に **社會問題** として重大視せられる樣になつた、之に就いて最近歐米各地の實地視察を遂げて歸朝した宮城司法省參事官は語つて『治安警察法第十七條問題に對しては茲に言議することを暫く措き先決問題として攻究すべきは同盟罷工を認むるや否やにある併し自分は目下の狀態では絕對に同盟罷工を非とする者ではない、とは云へ單純な資本家對勞働者の關係の罷工ならば **其影響は** 卽ち資本家對勞働者に局限せられるだけだが一歩進んで其結果は社會公衆に影響し或は國運の消長にも及ぼす如き場合には斷じて許し難いのである、斯る時は進んで禁止干渉も必要なので一般的に容認する事は大いに考慮しなければならない、そこで自分は一個の意見を有つて居る、其大體を話せば兎に角何れにせよ罷工の結果は國家の生産力に至大な **打擊を加** ふるものであるから之を現行の如く禁止する一方に現行の缺陷を補ふために勞働者の正當な權利を庇護すべく何等かの制度を設くるの必要があると思ふ、卽ち第一に資本家が勞働者に不當の取扱ひをした場合の如きも其爭議を裁判に委し、且つ其判決效力は訴訟當事者のみでなく廣く同一資本家に使用せらるゝ勞働者 **全部に及** ぼす事とする さて第二には此場合に現在の民事裁判所に託するか或は別に特殊裁判を新設するかは充分考へなければならぬが、斯る爭議は事極めて緊急を要する上に範圍も頗る廣いから特殊裁判所の設置が適當である、第三に此特殊裁判所は一切の勞働爭議を取扱ふは勿論、常に怠る事なく一般勞働狀態を調査する、而して其手續上も一般司法裁判と同一に論じ難いから是を **二審制度** となし迅速に第一審の判決を與へる事が肝要だ其一審の判決が第二審繫爭中である時は之を假執行とする、要するに此訴訟は一方が勞働者であるから裁判の取扱ひ及び其事務も簡易な特殊狀態に置かなければならぬ、第四に資本家と勞働者が解雇から生ずる爭議を防止するためには豫め雇入れる時一定の條件を公定し、萬一本家が事業の關係上使用者を **解雇する** 時には此公定條件を履行させるのだ・之れは非常に重大な問題で現行工場法を斯く改正すれば必ずや爭議を防止する事が能るだらう、大要以上の如くであるが斯くの如く判決に廣き效力を有たせた新制度を設くるならば特に公式に勞働組合を認めないとしても勞働者の權利を保護するを得べく且つ正當に法治的に勞働問題の解決をすることが出來ると思ふ』云云

敵財管理にも例外

管理するのは講和條約の效力發生前の敵人所有物

襲に緊急勅令を以て發布された對敵財産管理令の適用に就ては目下內務外務農商務の各省に於て調査中であるが **獨墺人** 私有財産は指環時計等の類に至るまで總ての財産を一々申告すべく命じられたため或は無一物の儘追放さるゝには非ずやなど恐怖を抱き居る者もありといふ右に就て某當局は語る『管理令適用の都合上財産全部を申告するやうに命じたのは事實であるがそれを總て管理若くは沒收するといふ譯ではない其の **範圍は** 內務省、外務省、農商務省の三省が講和條約に依つて公平な見地から適用するのであつて日常生活の必要なものには及ぼさないし又假りに管理後でも日常生活に必要な資金は之を管理財産中から支出することを許す方針である管理すべき財産は講和條約の規定に依つて條約の效力 **發生前** 敵國人の所有してゐた財産に限るものであつて批准後獲得したもの又は持參したものには適用されないのである一方に於て管理した財産でも一概に全部賠償金として精算する譯ではない其の中如何なる種類は精算に加へるかといふことは三省で協議の上講和條約中の敵國人財産管理令に照合して **適當に** 決定する筈である教會、學校、領事館、大使館其他公益に關する營造物は必ずしも精算するものではなく、大學教授の俸給なども例外を認められることになつてゐる』

院展と二科

今年から會期を延長す

美術院及び二科會の二展覽會は毎年秋上野竹の臺に九月十日より二十日間開催さるゝ例なりしが本年度より更に期間を延長して九月一日より同月末日まで三十日間同時に開催することに決した

陸軍子寶會

產聲を擧げた

可愛いコドモ偕行社に溢る

軍人軍屬の子弟に健全なる思想を鼓吹し立派な第二の國民を養成する目的を以て軍司令部師團司令部有志の間に設けられた子寶會は其の產聲を十三日午前九時から偕行社で擧げた、來賓には矢野憲兵分隊長山本龍山小學校長を始め其他先生方父兄側には宇都宮 **軍司令官** 以下軍師團の幕僚其他夫人連も可愛い少年少女に立交りさしも廣い偕行社も出來ない程の盛況を呈した、午前九時十五分發企者を代表して先づ宮地師團副官登壇父兄側に對し子寶會の主意を述べ少年少女に對しては根こじにこいだ二種の **茄子を示** し肥料の良否に依つて一は花も咲き實も結び一つは同じ種同じ苗であつたに拘はらず肥料が悪い爲め實を結ばぬことて子寶會を肥料に譬へて極めて平易に分りよく設立主意を子供の心に徹底せしめ次で大橋小龍氏の西伯利從軍土產と得意のお伽噺があつて一先づ閉會し宮地吉澤兩副官指揮の下に無慮四百の少年少女を庭前に集め京城日報社より寄贈の **風船玉** を子供に與へると同時に子供の萬歳を絕叫すると同時に風船玉を切つて放した風船玉が風に吹かれつゝ水色の空に上るを仰いで眺むる子供の顏には活々した喜びの色が溢れた宇都宮軍司令官も少年少女に交り共に風船玉を飛揚して其の前途の向上を祝福した、十一時散會、次回は來月卅一日天長の嘉節をトし南山頂上の綠陰で開くとの事である

榊丸から又虎疫

虎疫患者を出した

大連三好病院看護婦は保菌者として隔離さる

大連避病舍に收容されたる虎疫患者岩室の乘船榊丸は青島港外に抑留檢疫中又復同船二等船室ボーイ關富猛なる者十一日疑似虎列拉に罹り幾に岩室の入院したる大連三好病院看護婦今井さと亦菌擔帶者として十一日隔離されたり傳染系統は上海方面なり（大連特電）

洋傘の陣を作つて

朝露の野路を纛島へ

第三回婦人見學團

第三回婦人見學團を擧行すべき十三日は前日の曇雲も痕なく晴れて申分のない見學日和となつた此日は恰も盆の十三日に相當した爲め **俄に差支** を生じた婦人方も出來、豫定の午前九時迄に十里驛前に集合したのは結局七十名であつた、是より先驛前では水道係から來た係員が受付として机の前に控へてゐる、七時半頃から來る電車も來る電車も美しい婦人連を運んで來る九時十五分、今までに集まつた婦人連は先づ **第一班** として水道係員及び本社員の案內で往十里から纛島に向つた七月の太陽は照り輝いて居るもの・青葉を渡る風涼しくまだ朝露さへ乾かず爽快清涼の氣が天地に溢れて居た拭はれたやうな大空の下に重なる往十里附近の山々は鮮かに然も殿かに擴がつて居るも思ひ〱の **彩美しい** パラソルが一列に長く續いて往十里纛島道は時ならぬ花が咲いたかの觀があつた遲れ馳せの婦人方は九時四十分迄驛前で休憩した上第二班として纛島に向つた、水源地までの野路は輕塵も揚がらず名も知れぬ花が兩側に茂つた夏草の中に見ゐ隱れして **快いこと** 限りなし愈々是れから京城水道水源地の見學である往十里の朝鮮開發會社からは此の日の見學團一行に對して水の滴るやうなダリヤ其他の切花數十本を寄贈されたが之は鷺梁津迄係員の手で運び歸ることして家苞として贈る事にした

見付けたら叩き殺せ

マラリヤを媒介する蚊

ボツ〱患者發生

朝鮮の地方病としては肺ヂストマとマラリヤが大關格であるが年今是に罹つてゐる少年少女が少くない。マラリヤは確にアノフエレスと云ふ一種の蚊に刺された後に起ることは誰も知つてゐる處であるが兎角腸窒扶斯や猩紅熱などは恐ろしがつて直ぐ手當てを行ふもの・マラリヤだと **放棄ツて** 置く傾きがあるのは甚だ遺憾であるマラリヤは大人よりも子供が罹り易く隔日に熱を發する若し是が慢性になつたら容易に癒らない慢性は熱が出て苦しいと云ふ程でないが絕えず貧血をして **顏の色艷** は追々青くなり終にはカヘキスモーと云ふ病氣になつて生命を取られる、マラリヤを媒介する蚊は羽に斑點があるアノフエレスと云ふ。壁などに止まつてゐる時には蛇度尻を持上げてゐる **尻を持上** げてゐる斑らな蚊さへ見付けたら必ず叩き殺す事を忘れてはならぬ尻を擧げないで止まつてゐるのはクーレツキスと云つて敢て恐るべきではないがアノフエレスは恐ろしいから見付けたら最後殺すに限る。是は **濕氣の多** い處所に發生するから、子供を日當りの悪い場所や濕氣のある處では遊ばせぬやうにするが何よりの安心であらう、先頃の洪水後龍山にも多少マラリヤ患者が出たから今後は更に警戒する必要があらう

下關の賑ひ

祝賀提燈行列

去七月一日講和祝賀日當日雨天の爲め延期となり居たる下關市講和祝賀提灯行列は十二日午後六時より盛大に擧行せられ各學校生徒を始め市民の行列に參加する者頗る多く全市火の海を現じ終夜賑ひたり（下關電報）

日清燐寸工場燒失

藥品から發火

十二日午前十時半長春城內日清燐寸會社工場より發火二棟燒失十一時半鎭火せしが原因は工場內にありし藥品の自然發火ならん損害其の他目下取調べ中なるが構內にては遽に[illegible]の準備を爲したるが間もなく出火と知り落著きしも一時は却却の困難を呈したり（長春特電）

愈々開いた昌慶苑

金剛山見物記（九）

噓と法螺を搗混ぜた天女の浴槽

萬物洞を左に折れ、細徑石路を攀ぢ上ること拾數町、其間樹枝をさへ腰を延す事數十回、漸く金剛門を行き抜け、側巖に身を着け、十字架上の基督の型となつて蟹行數歩、顧みれば身は實に中空に浮泳せるに似て、兩脚は僅かに底ひも知れぬ谷を叩き見る事さへ出來ぬ、岩壁の間を歩く、路中五六寸の岩上にある。此所も千番一番の兼合、雲由師巨軀を持ち餘して、吾等一緒を諭する事勿論なり。漸くやつと、新萬物相の頂上に到る頂上の岩石、數千年の星霜を經たる事とて花崗岩の特質、風雅狀となつて聳立して居る、千伏の溪谷を俯瞰し、百千の巒峰を眺むる景趣は、言はずとも知れた所なり。路を引き返して、評判の天女の浴槽を見る。四時水を湛へて潤ろふ時なしなど案內記に載するも、それは法螺と嘘とを捏ね合せたるもの、直徑一尺許りの三つの水盤中、一個は空々、一個は寂々、殘り一個だけ底の手水鉢に殘る水の如く、申譯に五合許り湛へて居る。是なし湛へたりと云ふ。三界湛へざるもの有らんやだ『濁季の世、物好きな御人に勝手な名前を附けて悦ぶもよからん。天女は入浴の湯謝に、身の垢をこらして天に舞はん』など、さて、天女、惡口雜言を洩らして居るかも知れぬ。山靈の祟りを受けぬ內、サツサと下つて萬亭を後に溫井里迄驅足……。（靖雄）

夥しい觀光外人

今月に入つて既に五百人

一等車借切の米國富豪

露人は男女共に酒浸り

今月に入つてから外人の朝鮮觀光客が俄に增して朝鮮ホテルは非常に賑を呈して居る、十一日から十三日迄の觀光客は既に四百五十人にも達し昨年から見るとザツト百五十人の增加である是等觀光客は大抵內地若くは支那の觀光を終へて來たもので **米國人が** 多い次は英國人で佛國人は稀であるが露國人は可成來て居る、總體を通じて男よりも女が多く約三分の二は女觀光客で而も屈指の富豪が多いハデロング氏の如きは一行只の四人だが一等一車借切りで釜山に行くと云つた風で **非常に贅** を盡して居る斯うした華美な遣り方をするのは主に米人に多く英人は極く地味である、露人は餘り外出をしないで男も女も酒に浸つた居る金剛山を探勝する者も隨分多いが中には金剛山の景色に惚れ込んで六七週間も滯在したものや **俄に日程** を變更して此の夏中同地で避暑すると云ふ客も少くないので同地ホテルも一パイである

囚人看守を殺し

看守囚人五名を斬る

金山浦監獄の出來事

十二日午後四時平壤監獄金山浦出張所表門一町許りの茄子畑に於て除草中の支那人囚四十一名の內强盜殺人犯懲役十一ヶ年三ヶ月の王兒財（三）は突然鍬を以て李看守に毆り付け肩先を傷つけたれば傍に在りし看守清水才一氏は直ちに拔劍し李看守と共に共力して王を斬り倒したるが李泰山外全部の囚人は **血を見て益々狂ひ鍬を以て看守に肉** 薄し進んで看守の劍を奪はんとしたるが此急變を聞き多數の看守應援に來り先づ三名の囚人を斬斃したり其際 **清水看守は囚人より頭部を打ち割られ其場に即死** したるが他の囚人は此のごさくさ紛れに現場を逃亡し八名の囚人中二人を斬り二人を捕縛したるもあと四名は行方不明にて目下搜索中なりと

盂蘭盆會

京城本町三丁目淨土宗開教院に於て十三日より十五日迄毎夜八時盂蘭盆會開修布教師町良英上人の法話あり十六日午後二時より大施餓鬼會勤修す▲本町四丁目本門法華宗本能寺布教所にては十三日より盂蘭盆會を修し十五日午前十時より大施餓鬼會を修し加島主幹の法話ある筈

運動界

力士軍捷つ

安東の野球戰

安東軍の挑戰に應じたる相撲野球團は十一日午後途中迄出迎へたる安東選手と手を攜へ小學校グラウンドに入り直に猛烈なる練習を試みたる後四時に永井顧問官補の始球にて試合に移る相撲軍の猛打を連發し觀客をして呆然たらしめ安東軍奮闘大いに努めたるも戰ひ利あらず五對十にて桂冠は遂に力士軍に歸せり（安東特電）

淨瑠璃

▲或事情から不和であつた紋糸三造對龍絲頭太夫は某氏等の骨折で和解したとの事▲然し松會が解散したに就ては種々の取沙汰もあるが事實はそれ程込み入つたものでは無いらしい▲何んでも前松會の幹事であつた巴城衛の陸羅君が紋絲と三造の向ふを張るべく大阪へ三味線彈き連れに行つたといふ噂もあるが藝人を相手にマサカそんな莫迦な事もあるまい▲前松會の師匠間には關係の無い話だが一體京城の師匠間には紛紜が絕えぬやうだ僞か五人や六人の師匠が居て何うして斯んなに揉めるんだらうと或天狗は首を捻つてある▲今度彈榮子の二枚目で來た龍光は見臺の床本の文字が見ゑぬほど眼が惡るいが語りは確乎してゐる、朝鮮へ來るのは是れで三度目だらう。

大相撲盛況

安東縣の初日

東京大阪合併大角力の安東初日一行は朝來天氣晴朗暑氣激しきにも拘らず午前六時頃より入場者引きも切らず午前十時頃には既に九分の入場者を見たるが安東檢番の藝妓等總見として棧敷に陣取り居るを見たり午後二時頃には早くも滿員札止めの盛況なり幕下の土俵入り濟みてより本社安東支局好みにて東川に[illegible]山の取組あり若島東川の勝は[illegible]を削る許りの喝采なりき主なる勝負左の如し（安東縣特電）

勝		負
宇都宮	上手投げ	鳥海
綾川	首投	海山
宮城山	吊り出し	[illegible]
大の泉	櫓投げ	一[illegible]
常の花	下手投げ	福柳
朝日山	寄り切	御西山
對馬洋	上下投げ	源氏山
大錦	上手投げ	大門岩
栃木山	寄り切り	大[illegible]

右の中常の花に福柳は當日の好取組とて雙方の聲援盛なり最初福柳に團扇は上りしも大物言附きたる爲め取り直しとなり下手投げにて常の勝は滿場總立にて熱狂せり打出し五時半

釜山ミ片倉組 製絲工場の新設

大相撲の光榮

釜山水產狀況

天氣 晴一時曇

下痢と腹痛には

健胃固腸丸

効力 速にして且偉大なり 常に用うれば消化を能し腸胃を强健にし恐しき流行病惡疫に罹る憂なし

◎夏の家庭と旅行にはぜヒ御用意

藥價 拾錢、廿錢、卅錢、五拾錢、壹圓、參圓、五圓

本舖 大阪 東京 谷回春堂

◎各地藥店に販賣す ◎商標と名義に御注意

登錄商標

第五版

滿洲移住の鮮農(四)

滿鐵技師　攝待農學士談

奇現象…支那官憲は壓迫を加ふれども 支那農民は却て朝鮮人を歡迎す

北西鮮地方の農民が滿洲に移住するは自然の居住選擇より出でたる結果にして之れに制遏を加ふるは却つて不自然にして好ましからざる結果を生ぜむ事は前述の如くなるが更に滿洲に在る先住支那人が朝鮮人の移住農耕者を歡迎する事も亦彼等の事業上の利益と必要とにより出で支那地方官憲が幾多の壓迫を加ふるも陰に之を庇護して逐放其跡を絶たしむるが如き事なきは兩者相互の利益關係相俟ちて鮮農の滿洲居住を可能ならしめつゝあり滿洲に於る支那人農業者が

何故鮮農を歡迎

するかと謂ふ理由は鮮農は水田を拓く特技を有するを最も大なる理由とす滿洲人及び山東方面の支那人は全く水田を開拓經營する事能はざるを以て山東地方人及び滿洲人のみ居住する滿洲の農業經營には是非朝鮮人農夫の必要なる事又滿洲各地に於ける耕作地も高燥の地は支那人農夫の手に由りて畑地として耕作せらるゝも低濕の地及び浸水の土地は天然の儘に放棄せらるゝもの甚だ廣大なるが

支那人資本家は

之等の土地を手に入れ鮮農を招來して茲に水田を拓き低廉なる土地により高價なる米を收穫せんと企つるもの多く斯くの如き意味の鮮農需用は今後益々盛になる可し次に地主としての支那農業は支那人を小作人とするよりも朝鮮人を小作人とする方凡ての點に於て利益多く即ち支那小作人よりも鮮人小作者より搾り得る收穫が比較的

容易なる故なり

現に支那人は移住鮮農に對し資本金を貸與し或は農具、家畜、土地等を貸附し驚く可き高率の利益を占得しつゝあり即ち彼等は鮮農をして自己が生產し能はざる高價の米を生產せしめたる上に各種の名目の下に

甘き滋味を吸取

し得らるゝを以て地主たる支那農業者が動もすれば凶暴なる抗抵を有する山東出稼の苦力を使用せず柔順にして水田經營の特技を有する鮮農を歡迎するは當然の結果なり尙此ト移住鮮農は外國人なりと云ふ理由の下に

土地の所有權を

得るに困難なるを以て彼等多くは永く忠實なる小作人たらしむるを得るを以て農業經營上安全にして有利なる等彼等が鮮農の移住を歡迎すべき理由頗る多し

然らば朝鮮人は彼等支那地主の爲めに油蟲の蟻に於けるが如く單に其の

膏血を吸はるゝ

が爲めに滿洲に移住して孜々營々と勞作するのみなるかと云ふに之れ亦決して然らず前にも述べたるが如く朝鮮半島北半の地は概ね地味瘠薄して勞作に比して其の收穫尠く寧ろ滿洲に於て支那人を利したる剩餘の猶

鮮地に於るより 利益多き有樣

なるを以て移住者は官憲の迫害さへ無き限り滿洲居住を喜ぶの風あり斯くの如く來住せる者之れを樂しみ先住の地主之れを歡迎し兩者の間は相互に利益を以て結合せらるゝを以て支那官憲の防遏其の効なき事は少しく

支那の社會事情

に通ずる者の首肯する處なるべし而して此の自然の生活要求の移住は人爲を以て沮止し難きを以て朝鮮當局は極めて自然的に彼等の滿洲移住を奬勵し在滿洲の我官憲は支那官憲と協力して之れを歡迎し其安寧利益を保護し以て蒙古に於ける

廣漠たる沃土

の開發に勉むべきなり若し此の生活要求より現はれたる自然的移住を阻壓するが如き事あらば官に滿蒙利源の開發を沮止して滿蒙の爲め不利益なるのみならず內には生活難の爲め幾多不穩の分子を育成するが如き結果を生ずるに至るべし(大連)

戰報

烏拉爾戰線

烏拉爾戰線に於る過激派は目下エカテリン、ブルグ、ウヤアトカ鐵道兩側地區エカテリンブルグ、カザン鐵道南側地區及ウファア、ステリタマツク中間地區の三方面に於て攻擊を續けしつゝあり、オムスク政府軍は敵の攻擊を受けつゝ退却を繼續す六月三十日に於ける戰線左の如し

(一)、西伯利軍はペルミ以北カマ河左岸に陣地を占領し其以南に於てクングウル市方約二十吉を縱てイレン河右岸に沿ひカザン鐵道上に達し夫でクラスノフヒムスク南方約四十吉に亘る

(二)、西方軍の戰線は其左方に連繫しウファア鐵道上ウファア東方約九十吉を經てステルクタマツク東方二十吉に亙る

(三)、南方軍の戰線は其左方に連繫しヘエラヤ河に併行し其東側約三十吉の地を南方に進みオレンブルグ南側に至る

(四)、西方軍司令官ハンジン大將は目下オムスクに歸還しサアロウ少將臨時之を指揮しつゝあり(哈爾賓)

殺氣滿つ吉林城

梅雨天墨の如き滿洲の野

孟吉林督軍は今回突如誠威將軍に任ぜられ、剩へ、後任には鮑黑龍江督軍を配し孫氏の黑龍督軍たる如きは飽迄で吉林軍を死地に陷れんとするものなりとて命に抗して鐵火に訴へ吉林省の獨立を宣言すべしといひ吉林城內は殺氣滿々たり(吉林)

西伯利亞の好望なる金融界

二銀行の新設＝松銀の配當

オムスクにもトムスクにも 新たに銀行設立

西伯利農業銀行は本年四月十四日大藏大臣許可の下にオムスクに於て設立したる資本金一千萬留にして支店設置を許可され居り且つ其規定に依れば成立後六箇月以內に開業せざる可からざると同時に積立金五百萬留の五割を國立銀行に納付する事となり居れり同銀行の創立者は牛酪製造業者同盟會の幹部にして創立の目的は露國の農業を發達せしめ殊に西伯利の牛酪製造を盛大ならしめんとするに在りて近々開業の運びに至る可し又オムスク商人團もトムスクに株式商工銀行を設立したるが之又近々開業するに至る可く其資本金は一千五百萬留にして目下西伯利各地の商業會議所に對し株式募集をなせるに商業會議所は悉く此新銀行の創立を歡迎しりされど此銀行をトムスクに置きたるは其位置を得たるものに非ず西伯利の商業中心地はオムスク若くはイルクーツクなればその何れへか移轉せしむ可しとの說もあり

內地に於ける朝鮮米(三)

仁川商業會議所調査

…供給の增加…

內地に於ても米の生產額概ね逐年增加しつゝありと雖も其の增加たるや等差級數的を以て進み等比級數を以て增進せる人口增加に對抗するは到底不可能の事に屬す、以て之が補充策は內地現下の大問題に屬す以て之が補充策は內地現下の大問題にして朝鮮に於て種々論議せられ又進せられつゝありされど內地人の朝鮮米に對する嗜好より察し將た內鮮の地理的關係より觀れば朝鮮米の移入を最善の方策なりと爲すは何人も異議なき所なり、然らば朝鮮米の給を增加せんとして如何にせば可なるか

生產額增加

朝鮮の地味氣候は米穀の栽培に適せるも從來農民は單に天惠にのみ依賴して人力に由る利用の方法を閑却したる結果品質は劣惡に流れ收穫の成績亦頗る不良なるものありしが併合後當局者は穀類の增殖改善に全力を傾注し既に著々として相應の成績を擧げつゝあり、然も今後益々優良種の普及を計り又灌漑の復舊、河川の修理等の工事を完成して灌漑用水を潤澤にし又堆肥、綠肥の如き農家各自に於て製造し得べき肥料の外に資金融通の方法を講じて販賣肥料の施肥量を增加せしめ以て品質の改善と收穫の增加とを期すべきなり

移出力增加

朝鮮米の內地移出能力は毎月二三十萬石を出でず、蓋し之れ全く內鮮間に於ける海陸交通機關の輸送能力の然らしむる所にして如何に內地に多額需用あり又朝鮮に潤澤なる供給ありとするも特に之を增加するは至難の業たり昨年臨時に鈴木商店が十萬石を輸送せんとするに當り約三箇月を費し漸く之を終了せし實あり故に將來朝鮮の移出能力を增加せんと欲せば先づ海陸輸送機關の完備を圖らざる可からず

鮮人と外米

內地人は概して生活程度高く、外國米使用を嫌惡する風習あり、然るに朝鮮人は概して生活程度低ければ外國米を使用するも甚だしき苦痛を感ぜざるべし故に今後內地に外國米を輸入して食料品を補充するに止らず朝鮮にも直接に外國米を輸入して之を使用せしめんか一は以て朝鮮人の生活を節約し得るのみならず他は以て朝鮮米の移出額を增進せしめ得べきなり勿論此の政策たるや朝鮮人を劣等視して之を從屬するに非ずして全く朝鮮人の自由意思に基づき價格と談合して之を取捨せしむるものなれば毫も弊害あるを認めず一擧兩得の良策なりと信ず(未完)

內地と朝鮮牛

年移出四五萬頭

(上)　車田慶南道事務官談

內地に於ける食肉需要の狀況を見るに大正五年屠殺頭數牛三十三萬頭、馬八萬頭、羊豚三十萬頭にして屠肉量一億二千八百斤、人口百に對する一箇年の消費量二百三十二斤に當り既往五箇年平均に比し六割の增加を示せり然れども之れを世界各國に於ける肉の消費量例へば英國の一人年均十四貫に比すれば實に雲壤の差あり而して畜產の發展の狀況に鑑み生活程度向上の趨勢に徵するに肉の需要は逐年激增して停止する所を知らざるべし然るに朝鮮に於ける家畜生產數を觀るに牛約十九萬二千頭馬約十一萬ケ千頭羊豚約二十六萬頭にして供給の需要に及ばざるや明かなり近時牛肉の需要著大にして牛肉を得る能はざる地方に於ては馬を屠殺せらるゝこと尠からず夫れがため價格は牛肉は勿論豚肉、馬肉ども著しく騰貴し農家は成牛を賣却するも償ふ能はず農耕牛馬減少して農家經濟上にも大なる影響を及ぼすに至れり故に朝鮮其他よりの畜牛輸移入著しく激增せり內地に於ける累年畜牛輸移入數左の如し

	頭數		頭數
大正二年	一八、三〇〇	大正三年	一一、三二九
四年	一一、五八〇	五年	一八、六〇七
六年	三一、五九一	七年	四六、一〇〇

以上大正七年の四萬六千頭は悉く朝鮮牛のみなるが斯の如く內地に於ては農耕用牛馬肉用牛馬羊豚等の需要は逐に供給に超過し其の補充に付いて最も重要なる地位を占むるは朝鮮にして前表移入牛の殆んど全部は朝鮮牛なり釜山港は其の最も重要なる移出港なれば慶南牛は實に其の主要なるものなり釜山檢疫牛次の如し

	頭數		頭數
大正二年	八、五一四	大正三年	一一、二二九
四年	一〇、三五六	五年	一四、三一一
六年	二四、四五六	七年	三一、二二六

右は入所頭數の全部なるにより移出牛數と稍異なれり(晉州)

朝紡敷地買收側

未解決地は其儘

朝鮮紡織會社釜山鎭敷地買收は其後著しく進捗し豫定坪數七萬五千坪の中約一萬坪の未解決地を餘すのみとなり內地々主との交渉のため內地出張中の委員も十四五日頃に歸釜する豫定なるが其結果により全部圓滿なる解決を見る可きか或は一部未解決のものを生ず可きや目下の處疑問なるも會社側に於ては何時迄も買收交渉にのみ時日を空費するは工事其他に遲延を來たすの恐れありとし八日より同社建築技師村上常彌氏は山口組の技手同伴にて來釜し愈々九日より敷地の測量に取掛りたり而して同社が男工宿舍敷地として買收せる地帶は將來の繁榮を豫想したる向あるの故か地價騰貴を見越して今日の處敷地以外の價格にて買收を行ふ事は頗る困難なる模樣なり(釜山)

哈爾賓に於て 鮮人の阿片罪

(拘留、科料又は說諭)

阿片密賣にて哈爾賓傳家甸十道街十四號居住李德順は科料二十圓に石岩屯承翌は科料二十圓に六道街居住江原道平康郡生れ崔俊奎(三〇)は拘留八日に八道街居住咸北茂山郡邑面生れ金文虎(二九)は拘留七日、埠頭區スコウズナヤ街十九號居住慶尚南道泗川郡朱南面美開里居住申必杰(三七)は拘留八日、外國六道街居住咸鏡南道北青郡高石洞(三二)は拘留七日に何れも阿片取締規則違反として哈爾賓領事館警察署に於いて處分を受けたり(哈爾賓)

日本名刀傳　百

東京　田邊南龍講演

五郎正宗(廿五)

翌日になると魚商へいひつけて大きな「ブン」鯛を買入れた、ブン鯛とは腐つてブンと臭氣のする鯛だ外に料理數人前をあつらへ一同禮服著用社杯を著けて別に人夫を六人雇つて例の小便を詰込んだツル樽と「ブン」鯛と料理を荷はせ、一同ゾロ〳〵衆光の家を指してやつて參りました、先に立つた助衆が 助『今日は……御免下さい、お祝ひに上りました、旦那樣へ宜しくお取次ぎ願ひます、助衆始め多くの刀鍛冶が揃つてお祝ひに上つたのでございます』 取次『是れは皆さん、宜うお出で下さいました、唯今お取次を致します』 助『何卒宜しく願ひます、就てはお祝ひの印に御酒一樽持參致しました、お祝ひの印に差上げます、宜しく先方へ御披露を願ひます』 取次『ハイ〳〵是れはどうも有難う存じます』と言つたが、何だか得も言はれぬ變な臭氣がするので取次は顏を背向けながら主人の衆光に取次ぐと 衆『何だ、酒や肴を持つてアノ鐵砲鍛冶奴等がやつて來たと、ウム、左樣か、宜しく此方へ通せ』一同は座敷へ通る〳〵、それでも感心な奴等だ、一方は衆光の弟子達が御馳走の支度にかゝる、衆光は上座へムンズと坐つて一同を見廻し 衆『能く皆來たな、俺が御番鍛冶になる、前祝ひに來て吳れたのか有難てえ』甲『是れは先生、此度はお目出度存じます、日本の宗匠は無論貴方と云ふことは陰ながら承はりました、もう直に京都から御沙汰の御箱が到來しませう、まア何にしてもお目出度ございます』乙『ちよつと御祝ひの御挨拶に伺ひました、貴方樣が今度日本の宗匠におなりなさいますれば我々の御話の頭り備前中の刀鍛冶はお陰を以て鼻が高い、そこで是れから貴方樣を皆で神樣のやうに尊敬致します、へ〳〵斯樣嬉しいことはございません』丙『どうも先生お目出度う存じます』衆『ウム、俺のお陰で皆がさう云ふものだ、長らく御番鍛冶は相摸國の住人正宗が居たが今度此の備前に衆光と云ふ大先生が出來たので此の位置を奪はれたのだ、手前達も皆が付くか知れぬ、今京都からお箱が到來すれば直ぐに拜ましてやる、行光の伜五郎などは物の數にも足らぬと云ふものだ、今お前方の持つて來て吳れた酒肴の外に俺の方からも御馳走する、緩くりやつて吳れ、飲みつけねえ上等の酒を飲んで腹を下すな』隨分亂暴なことを言やアがる、畜生今に見ろと一同齒を切しばつて殘念がつて居る、折しも門口に當つて

〇『お箱が到著致しましたア』と京都からのお使者が這入つて來ました、一同仰天してお箱御到著と云ふので玄關へ出迎へる、衆光は慌てゝ袴を正し衣紋を繕ひ、恭しく兩手に受け、お使者を奧の間へ案內して取持つ、衆光はお箱を携へ座敷へ戻つて參りました、一同も衆光の後に尾いて、ぞろ〳〵戻る、お使者は暫らく休息して直に出立次の刀鍛冶の許へ參る、さて衆光も外の者も口を嗽ぎ手を洗ひ別座敷でお箱を拜く、衆光は無論自分が御番鍛冶になつたものと思つて居るから 衆『サア皆、謹んで拜見致せ』〇『どうぞ拜見さして戴きたう存じます』やがて衆光はお箱の封を切り恭しく取出したるお書類、押し戴いて讀下せば眞先に黑々と『此の度日本の宗匠たるべき者は相摸國の住人正宗たるべきものなり』としてある『アツ』と驚いた衆光眞青になつた 甲『先生拜見を……』丙『是非拜見を』乙『是非お書付拜見を願ひたい』と迫る、衆光は啞然として書付を持つた手はブル〳〵、顏へ顏色は死人のやう……。

お斷り　本日掲載の分は誤つて昨日の分と前後せしに付き其の積りにて讀み下しを乞ふ

多望なる釜山

本田府尹の談

本田釜山府尹曰く釜山港は朝鮮貿易港として中樞で殊に內地との關係上異常の發展を爲して居る又將來も刮目に値する者があらうと共に設立されんとする朝紡や或は牧の島の陶器工場の如きは釜山の發展向上に資する事の決して尠少ならざるを確信する漸次北方に向つて發展しつゝある釜山鎭は東萊を合せて大市街を建設するの將來を有して居る樣である殊に同方面は工場敷地として一般に適當なりと認められて居るから此後各種の製造工業地として使用さるゝ事と思ふ兎に角吾等は時勢に順應し適當なる方策の下に釜山の發展を計りたきものである(釜山)

七月十五日

(舊)六月十八日　火曜日　ひのえとら　七赤　帝劍　西▲先勝▲井▲ひらく

滿月

▼七赤▲兎角安心のなり難き日
▼八白▲吉凶の日商ひ事には殊に宜しく就職も叶ふべし旅行も吉
▼九紫▲思ひ通りに行かざる日
▼一白▲用心して取掛るべき日
▼二黑▲心正しければ立身の端緒に就くべき日にて萬事に吉也
▼三碧▲目上の引立に遭ふ日にて正しく進めば諸事成功すべし
▼四綠▲迷ひを生じ易き日なり
▼五黃▲不善の起ることある日
▼六白▲親みある日なれど物事を輕んずれば却て不利に陷らん

京城本町二丁目　野田時計舖

牛乳　病院用　京城東四軒町　御用　岡野牧場　電話一六〇九番

京城　朝鮮製藥合資會社　金十五錢　金三十錢　金五十錢

演藝案內

本町一丁目　電五九七番　有樂館改　喜樂館　◎當る七月十一日より引續特別興行　米國ユ社　大活劇　◎寶石犬の曲藝　滑稽豚の活躍　◎佛國政府の注文に接し製作されたる大阪每日新聞連載讀物　人情　陷穽　全五卷　◎第二回　水戶黃門漫遊記　全拾壹篇廿二卷の內四五六七篇上場　○孤つき猿の卷　○越後騷動の卷　○助なん角力の卷　○牛盜人の卷　○先廻り遠見の卷　實寫　長尺に付夜七時開演　普通料金　◎毎月一日十五日晝夜二回開演

本町二丁目　電一〇五〇　壽館　當る七月十三日午後六時より開演　初日語物　御祝儀の入　竹本入登　お駒才三鈴ヶ森ノ段　竹本彌勇　玉藻前三段目　竹本彌秀　忠臣藏六ツ目　竹本源之助　朝顏日記　竹本豐竹　日吉丸三段目　竹本龍光　御所櫻三段目　竹本鶴光　卅三所靈坂寺ノ段　竹本彌榮子　餘興　柱川連理柵　お半長右衛門　大阪娘義太夫　竹本彌榮子一行

日本活動寫眞　常設　大正館　白寶珠　第七篇　八卷　千鳥の唄　全六卷

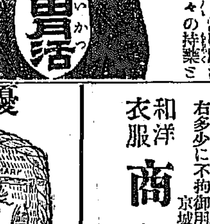
又々滿員　◎見落す勿れ◎　二日目六時四十分　大好評の　水戶黃門漫遊記　全八卷　映寫時間八時十五分より　本町　喜樂館

京城明治町　電話二六〇　浪花館　納涼興行諸藝大會　當る七月七日午後六時より開演　▲落語　笑福亭笑太郎　▲輕口笑話　橘家六中　▲落語音曲　富尾嬢　▲筑前琵琶　橘旭嬢　▲浪花節　笑風三　▲落語手踊　亭春平　▲娘義太夫　竹春松　▲相撲甚句　柳之助　▲落語劍舞　川右衛門　▲餘興茶劇　桂三中

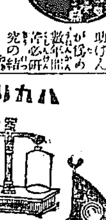
京城本町　電話五七八　壽座　當る七月十三日二日目　新派バック合同劇　一番目 寒劇 丑三つ頃 三場　二番目 喜劇 中元御祝儀 三場　三番目 社會劇 共稼 二場　四番目 喜劇 武士茶や 一場

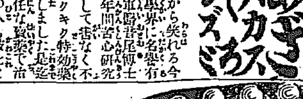
懸賞尋人

原籍大阪南區難波新地町一丁目　藝名玉川事左右光惠當廿五歲　▲特徵色白く瘦せ方顏長く身　▲背通りより稍高く笑へば稍出齒　▲右者本年六月三十日午後十時頃家出行衛不明につき本人發見の方は自分へ至急御內報被下度本人引取り上謝禮として　金壹百圓也　贈呈可致候　京城中壙町　美人樓事　小林彌平

夏の胃
夏は誰も胃が弱り水アタリ、暑氣アタリ食傷等の、吐瀉病に罹り其他の餘病を引起す恐あり胃弱者は勿論、無病者も常に胃活を家庭に備へて、日々の持藥として玉ふ事肝要なり
胃病　良藥


胃活壹圓、二圓、五十錢、三十錢、廿錢　各藥店にあり　本舖　東京日本橋本銀町　山田安民藥房　大阪南久寶寺町二丁目　山田安民藥房

人から嫌はれる　わきが
◎根本的なほせ　◎疑ひ深い人は死ぬ迄なほらぬ　◎化學的療法無代進呈

藥學界に名聲ある陸軍一等軍醫香尾博士先生は月々わきが病にて困りの人を助け今回最も進步したる『チゼン液』と云ふ不思議にヨクキク責任ある藥を創見致しました是迄無責任な一寸素人ダマシの賣藥にて效無くお困りの人は彼是と迷はず一日も早く東京府下大久保町西大久保五十一東京腋臭院に八錢切手で申込めば新療法の本を無代で上げます

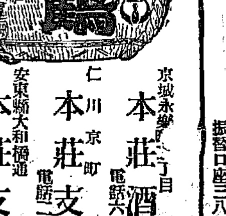
◎不思議になほる

あせも　ソバカス　ほくろ
捨置は人から笑はれ今陸軍一等軍醫香尾博士先生が數年間苦心研究の結果決して害なく不思議にヨクキク特效藥を發見致しました是迄種々無責任な賣藥で治療しても効無くお困りの人も迷はず一日も早く三錢切手封入東京府大久保町西大久保五十一東京腋臭院に申込めば確實安全秘密に治療の出來る自宅新療法の本を無代進呈

△訂正　十三日附夕刊合資會社清水組出張所トアルハ清水組出張所ノ誤植ニ付訂正ス

腦病と神經衰弱奇藥

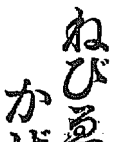
一切の腦病頭重く時々痛み眩暈し嘔吐あるは逆上、通じなく事務に倦怠、底氣一ぜず、安眠出來ず、夢に襲はれ顏色青く物に驚き易きことあり本劑は右の如き諸症に最も適當にして腦、神經を強健ならしむる唯一の良劑なり
記憶力缺乏　元氣衰へ病勢進みて中風となる
正價二十五錢、五十錢、一圓　一日分二回、送料八錢
腦に故障ある出世の妨　速かに腦丸服用して成功を
本舖　東京市神田區花房町　大阪東區高麗橋支店　山崎帝國堂

軍隊鐵道拂下品　拂下品一式　其他諸官衙
新古夏服　事務服　工場服　其他
新古和服　夏物　安品　種々
右多少に不拘御用命被下度願上候
和洋衣服商　金子奥市商店　京城府蓬萊山元町二丁目　電話龍山長四〇五番　振替口座三八二三番

優等清酒


京城永樂町二丁目　本荘酒店　電話六五四番
仁川京町　本荘支店　電話二六一番
安東縣大和橋通　本荘支店　電話一七一番

外科 皮膚科 醫院
京城旭町二丁目(舊三丁目)　醫學士　瀬戸潔
(診察夜九時迄　電二四九八番)

ハカリ印

ねびゑ　かぜ
ねつを解きかぜを治すには
ハカリ印のヘブリン丸に限る……
ハカリ印のヘブリン丸は治り難い夏のねびゑかぜを治すに誠に妙である
大阪　合資會社　參天堂
定價　十錢以上、家庭用五十錢、一圓

獸類鳥類診斷治療　矢野家畜醫院　京城若草町(總務總監部道)
◎狂犬病豫防注射開始

敷地四萬五千坪　釜山に於ける企業熱の勃興は…昨年朝鮮陶器會社の牧島に…るゝに至りたるが更に釜山…商業會議所は同社の依賴に依り…市工場敷地の買收に盡力すべき由…街北端鐵道線路西部山麓の…地なり(釜山)

暴風警報　風強く降雨あり

警戒解除　(十三日午前七時三十分發)

連絡船上陸客

汽車時刻

日米直通航路

消化と毒けし

仁丹

醫學博士三輪先生
醫學博士井上先生
御方劑

本舗 大阪市 森下博藥房

夏(なつ)の命(いのち)は

…心意(しんい)を忽(たちま)ち爽快(さうくわい)にし…

…脂汗(あぶらあせ)をサラリと流(なが)す……

仁丹(ジンタン)のんだ心(こゝろ)よさ

仁丹買方

△一貼入　十錢
△二貼半入(名所カード 金言容器付)二十錢
△三貼半入(懐中容器付)三十錢
△七貼入(四季容器付)五十錢

—金言—

最も高き場所に登るには必ず迂廻せる階級よりす　(ベーコン)

第五版

京城日報

(年中無休刊)

本紙定價　一部金參錢　一箇月前金七十五錢

京城太平通一丁目　發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介　發行所 合資會社京城日報社　電話番號長六千九　振替京城三〇三番

大戰の總勘定(四)

賀田直治

今試みに各國戰後の形勢に付て一覽するに、英吉利は今度の戰爭に頭き個人主義が大事に臨み強き國體的に訓練し、堅忍不撓の國民性を發揮した。戰後も必ず堅實なる進歩をなすべきが、國勢は今が最絶頂で、國内には勞働問題等の厄介があり、米國との勢力爭は如何なるべき乎。佛蘭西は四十年來の宿望を達し、アルサス、ローレンを恢復し、愛國熱烈寶もあり花もある戰勝を獲たが今後の恢復及び努力は如何なる乎、是迄の努力の反動が現はるゝ事なき乎。米國は大規模の選方で既に勢威第一である、當分非常の力であり、東洋に向つて歩武を伸ばすに相違ないが、今後社會問題勞働問題は劇甚であり、國内に政黨の二潮流あり之を統一する權威が、今後は如何なるべき乎。兎に角勢力極まりて如何に變ずる乎。

露國は今こそ混亂度すべからざるが、輪廓大なるスラブ人種は、他日恢復の時がなからう乎。獨逸は今度の結果に依り非常の報復的意氣込で回復を圖るべく、國としては急に恢復つくまじきが、人民は世界の各地に入り込み、從來の忍耐力と商略に更に訓練と猜間心を添へたるもの故露國、バルカン、南米、南洋東洋各地に來りて、内部より勢力を扶植するであらう、其方略は經濟上若くは思想上何れの方策にても形は次第で、自身等は必ず採るであらう、故に將來の鞏固なる組織を持しつゝ、他の勢力を弱むる遣方は手段を擇ばず、獨逸は正に端倪すべからざるものがある。

伊太利は大した勢力はなからう、只佛國には餘り滿足せぬ感情があり獨墺との地理的關係にて結合の事なき乎。支那は大戰中内訌を治め得ず、東洋平和の攪亂國日本に迷惑をかけながら背恩的であり、以夷制夷の外交方をしたが、今後の形勢は如何になる乎。日本は大戰中、日英同盟の誼に依り、陸に在つては青島を抜き、南洋を鎭定し、海に在りては太平洋、印度洋、地中海等に普戰警護をなし其の功は頗る大にして、今度講和會議に相當の報酬を得た次第であるが軍閥關係の働きは矢張眞面目で忠勇である。然るに經濟界には僥倖の驟利に依り、所謂成金風を生じ、奢侈俗をなすの短所を醸成した故に戰爭が我國に徳をなせるか否かは問題であり、之から仕返しもせらるべく又滔々たる思想問題、勞働問題、社會問題等も相應に我國を騷がすであらう之に處する日本帝國の態度果して如何。

予の見る所を以てすれば即ちこの際我が日本が國家として國民として心すべきは擧國一致皇室中心の純粹の下に、根柢ある國民性を基礎として、世界の風潮に順應し、採用すべきは採用し同化すべきは同化し、國際關係上好位置を占め、歐米何れかの強國と握手し(目下の處日英同盟は成可く維持しつゝ)孤立の如き他國の勢力爭奪地があり世界の波面は到底平靜ならぬ、別けて東洋は多事多忙と思ふ、此間に處し日本の主となり、東洋の平和を一べき日本國民の覺悟決心並に實力は決して尋常ではゆかぬ、非常的精神を以て國民各自其務に服し物質精神の文化的進歩に盡力せねばならぬと思ふ。(完)

髮ひを除き、個人と社會との練義調和を圖り、科學、物質、經濟の進歩を致すと共に、道徳信仰の精神を充實し、國防軍備の實勢を訓練し、國際政策としては文化主義、國家政治としては臨民本主義に依り、世界の平和の爲に、東洋の進歩と一致とを圖り、以て歐米も東洋も均しく文明の其味を共にして、永久平和を現實せん事を期すべきであると信ずる。結局世界大戰の總勘定は決して容易ならぬ、要するに一應總勘定はついたが、今後又一層の勘定關係が錯雜しはせぬかと思はれる、つまり世の中は盛衰興亡の輪廻であり、行動あれば反動あり因果の理法は歴然として働いて居る。最も盛なるべき米國がいつまで英國と握手してゆけるか獨逸の再起は如何、其れに露西亞と支那の

金剛山スケッチ(八)　九龍瀑

古賀祐雄

細雨霏々として雨衣を濕し極樂峴下神溪寺に到つて歇む、梯前一帶の松林、陽光ときも雨雲全く散せず彩殴の奇峰高めに爽し行く事十餘町溪流の激衝し來るなと岸に移り右岸に渡び、玉流洞の幽境、九井峰の山脈を背して、蒼碧、巨蟒の頸下を下る如き迎、揺潭を過ぎ、銀河九天より落つるの飛瀑、湧を伸さんと折すれば九龍瀑に達す、山中第一の瓦瀑其上に懸つて落下し、水勢洞窟に反撥す、瀑底岩を穿つて潭を作る之が九龍淵となす、千山萬壑眞に之れ太古の象ありと云ふべし

佐々木君の小作農保護計畫に就て(二)

小原農商工部長官談

▲然らば小作問題の根本的解決方法は如何思ふに之が解決は地主が温情を以て小作人を指導するのみならず更に進んで如何にすれば徹底的に小作人を救濟し得るか如何にすれば積極的に小作人をして恒産を得せしめ得るか言ひ換ふれば如何にすれば小作階級より地主階級に進ましめ得るかに關し之が解決を與ふるに在ると信ずる『佐々木家小作人殖産組合』は此意味に於て徹底的に小作農保護を目的として佐々木法學士の理想の下に組織せられたるものである同君は多く爲に自家の利益を犠牲とすることを厭はず此計畫を遂行せむとするものである其事業は大體左の如くである

(一)佐々木家小作人殖産組合目的　組合員たる小作人に共同の財産を得せしめ努力さへすれば小作人をして否やでも應でも恒産を得せしむるに至らしむることを期するのが組合の目的である

(二)組合の事業　組合の目的を遂行する爲に低利産業資金の貸付、貯蓄奨勵、共同購入、共同委託販賣、小作米品評會等を行ふことは他の小作人組合と別に異なる所はないが只此組合の特色とする所は一定資金を積立て、不動産を買收し之を以て組合附屬の農園其他農林業を經營せしむると云ふことに在る殊に佐々木君は朝鮮に於ける土地の廉價にして農業の有利なる關係上成るべく朝鮮に於いて適當なる場所を選み附屬農園を造り組合をして之を經營せしむると同時に殖林事業をも行はしめ斯くして小作人をして知らず識らずの間に大なる富を得せしめんことを期すと云ふのである殊に又組合員たる小作人の子弟が朝鮮に於ける組合附屬の農園に移住することを奨勵し以て同化政策上に貢獻せむことを期せむとするのである

(三)佐々木家と組合　佐々木家は組合設立の初年に先づ積立基本金として金三千圓を組合に寄贈し翌年からは組合員より佐々木家に納入すべき定額小作料の一割宛を積立しめる此の一割宛の積立を金額に見積れば約三千圓前後であつて毎年引續いて之を積立之を複利に計算すれば組合存立期間たる三十年後には巨額の組合財産となるのである

錬膽録

三笑生

伊達次郎

◇伊達次郎は、紀州和歌山の藩士で、自得居士と號し、近世の歌人である。彼は、妙致を言外に有すること、禪趣歌趣同一殿と云ふ見地から、禪旨を和歌に寓して、自ら和歌禪と稱した。

觀心の因に詠める歌

松直し、棘曲れり、彼れこそは、心清かれ、これはまた、性濁れりと、市人の、物賣るごとく、商人の、物買ふごとく、品定め、物いふ人、その人に、翁申さむみづからは、いかにあるらん、美衣の、清らしきか、味酒の、濁りなきか、人を見て、猿と笑ひ、人もまた、狗こやいはむ、狗と罵り、猿と笑ふも、うらうへに、うつや皷の、なりたかし、高しなりやめ、山吹の、花に心の、色ふかく、染むこもよしや、雲井まで、かよふ螢の、夜をてらす、光しあれば、豈かくれめや。

雨後落花

しはしあらば雨の名殘の濁り江もすむべきものを花のちるらん

の如きは、其の一例であるが、自得居士自得の歌風が窺はれる。さて彼は、此の禪昧を何處から得たであらうか。

◇一日、彼は、相國寺の越溪和尚の道風を慕ふて、相見を乞ふた。居士が催に其の室に入らうとすると、和尚は、突然鐵拳を固めて、ポカンと一つ居士の頭を見舞つた。居士は面喰つて退いたが、どうも癪に觸つてならない『實に奇怪至極な坊主だ、武士たるものが故なく鐵拳を加へられて、默つて居れるものか、よし今度は死を決して決闘しよう』と覺悟した。獨園和尚は、之を見て『貴公は、未熟な爲めに越溪老漢の老婆親切が解らぬのおや、まあ、腹を立てずに仔細に參究して見るがよい』と諭してやつた。居士は、それもそうかと退いて、工夫を凝すこと三日三夜、殆ど寢食を廢して、鍊磨精進したゞするに明かに、彼の鐵拳一個の活手段の意が、那邊にあるかを悟ることが出來た。直ちに越溪和尚の前に出て、所見を呈すると、以後猛々精進せよと云つて之を許した。彼は獨園和尚に向つて『師の慈愛がなかつたら、どうして今日の聰快が得られよう、今から考へて見れば、彼の鐵拳は、まだ〳〵緩やかであつたことがわかる』と云つて、深く感謝した。其の後彼は、瀧布の天眞寺に於て、禪寺と謀つて、國忠社なるものを設け鎌倉の洪川和尚を請して、その盟主としたりして、老年ます〳〵壯に、剛若辨道を廢らなかつたのである。

◇苟くも、殺氣壯膽に志す者は、須らく先づ自得居士が、一拳徹骨大死一番の處に眼をつけて、親參實究、以て鼓棱を自得すべきである。

▲五ケ年に亘る苦心の大著

即席應用 組合せ式 手紙文鑑

▲どんな手紙でも頭を痛めず即座に思ふ通り書ける新案組立法

▲最新式考案　今回完成せる臨用自在組合せ式手紙文鑑は元中學教諭齋藤蘆州先生が苦心完成の大著にして今迄に類のない組合せ式なるが故にどんな手紙の下手な人でも一度本書を開けば少しも頭を痛めず考へずに思ふ通の手紙が即座にスラ〳〵書ける十組にして全巻を同時に幾通りでも

候、祝賀、吊慰見舞、招待、通知、案内、推薦、注文、通照會、依頼、交渉、勸誘禮告、抗議、辯解、催促承諾、周旋、拒絶、照答文以下

(著者責任質問に應答す)

卅三門と九百餘項に分ち有らゆる文例類句を漏なく集め其數◎二萬餘種に達し實に本書は出版界空前の新考案にして目下専賣登録手續中なり▲本書は三六判の總頁八百頁に定價一圓二十錢の處記念の爲め千部に限り破格大特價第一回後金二圓金引換小包にて急送す希望者は新名記入ハガキで引にて定價の處文は送料共一圓廿八錢

草書字引　(當此際先着拾一冊代振替東京一二七三番)

有教社　東京青山南町六ノ八四

▲縦覧御随意　支那書畫骨董珍品貳千餘點

空前大競賣會

日時 七月十四日下見 十五日 午後一時より競賣

場所 本町二 競賣會社樓上

荷主 京城 太田廣田倉次　同 松本竹次郎　松田初太郎

京城競賣株式會社 電七八四番

▲縦覧御随意

京城日報社出版部

最新 書式大全

菊版クロース頭美本九百頁◎定價參圓郵税二十七錢

本書は最新の朝鮮書式大全にして各種關係法規に依り、民事、商事、刑事、交通、通信、財政、産業、特許、意匠、商標、實用新案、恩給年金、警察、學事の十部に分類し各部又一々關係法規を摘録し一切の書式を網羅して餘さず各階級を通じて必携缺ぐ可からざる良書なり

發行所 京城太平通 京城日報社代理部 振替京城三百番

取次販賣所 大阪屋 日韓書房 磯松堂

◇火災恐るべからず

◇不用意恐るべし

諸君の部落には完全なる消防組の設備ありや

(ポンプカタログ進呈)

京城 熊平支店 電話長六二四番 振替京城二一二五番

新田商店 旬報

反撥遠からず

物價調節も國民生活の上に重大なる影響を及ぼすものあるを以て當局にても之が抑止に努力しつゝあるも容易に其の效果を擧げ得ず…

[illegible]

公債株式現物問屋 新田耕市商店 京城櫻井町一丁目 電一八八一・二三九〇番

◇タイプローヤル

第十號著荷仕候定價貳百九拾圓 カタログ御申越次第御送附申上候 丸善株式會社直輸入世界的

京本町一丁目 大阪屋號 振替京城二五七番

世界大戰以來 定價一圓三十錢 送料十二錢

大隈侯論文集 朝鮮圖書解題總督府 家庭醫學と養生法 フランス大革命史 學生中心本土幸田露伴 ひょうきん者 そこつ長屋淡路呼潮

最新刊

書名 著者 定價 送料

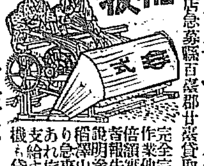
大阪朝日新聞社編 八年運動年鑑 定價五十錢 送料六錢

財界之新人 支那佛教遺物 現代英文學論 日本史傳文選 歴戰記錄 南洋探檢

京元線平康驛前 江北自働車商會 主 朴寶祐

金剛山平康間自働車開始 東洋唯一ノ絶勝地 金剛山ハ世界ニ勿論 ……

稲扱 大阪難波 殖産會社



完全完備 作業他機 倍額… 見本…

自家用にも賃取引付す 賃取引

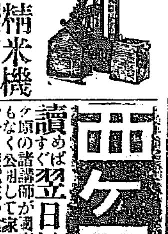
法人登記公告

京城地方法院 春川出張所

[illegible]

專賣特許

八千代精米機



◎精石數特別號六十石以上

本機の特長

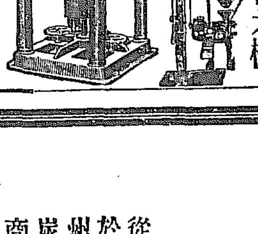
一、搗減僅少にして精白滑

一、精白は無砂混砂自由なる事

一、酒造精米に最も適當

敷島精米機

敷島籾摺機



◎本機は壹馬力半動力を以て十時間三十五石乃至四十餘石の玄米を得

◎御申越次第カタログ贈呈す

大阪市西區江戸堀北通三丁目 株式會社 今橋商會 電話土佐堀二八二番 振替大阪一四〇九番

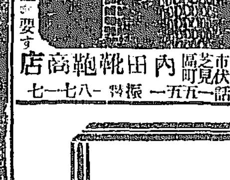
東京市芝區櫻田久保町 東京支店

廣島市猿猴橋町 廣島出張所

福岡市博多上呉服町 九州出張所

御旅行には必ず弊店の鞄を

登録商標



定價表進呈郵券二錢要す

東京市芝區伏見町 内田靴鞄商店 電話一五九一 振替一八七七一

評論 解放 雜誌

ヱホバルよりの解放　(ミカイゼ)　堂々三百頁の長論文本號より連載　福田博士

貨幣よりの解放……早大教授高橋誠一郎

文藝の解放 早大教授 木村久一

軍閥外交慘害 戴天仇

金力と武力の禍 鹽澤法學博士

法科大學生の眼に映じた上杉愼吉博士 新人會同人

婦人欄 山川菊榮

海外時潮

▲花盛の日本 ▲自由論壇 鈴木富士彌 ゴシップ

七月號

時評

國際聯盟の改造、支那の過激化、米價問題其他

お光(長篇)廣津和郎

孟沂の話 佐藤春夫

ある老人 谷崎精二

日光の自然美と人工美……野口米次郎

史的人物の批判 文學博士 三浦周行

島崎藤村論……加藤朝鳥

▲觀想(詩)日夏耿之介 ▲夏日雜詠 與謝野晶子 ▲歌聽く日 荻原朔月 ▲時事漫畫 近藤浩一路

田舍政治家の芝居見物……法學博士 惠壽隈

勞働運動 福田博士 山川菊榮 安部教授 北澤教授 賀川豊彦 白柳秀湖 堺利彦氏 諸氏合評

價四拾錢 郵税貳錢 (六冊貳圓卅五錢郵税不要)

東京 大阪 振替 東京二三六一一 大阪二七一五五

株式會社 大鐙閣

謹告

從來岩田商會及安州炭礦平壤出張所に於て取扱候明治鑛業株式會社經營の州炭礦大成無煙炭礦及内地各炭礦の石炭販賣に關する一切の營業を安川松本商店京城出張所及安川松本商店平壤出張所にて繼承致し大正八年七月十日より營業開始仕り候間何卒從前同樣の御愛顧御引立の程奉希候

大正八年七月十日

京城南大門通五丁目十七番地 岩田商會

京城南大門通五丁目十七番地 安川松本商店京城出張所 電話長二六六番

平壤若松町一番地 安州炭礦平壤出張所

同所 安川松本商店平壤出張所 電話長六一六番

西ケ原蠶業通信講習生募集

讀めば翌日から役に立ち然かも假名さへ讀めれば如何なる人にも理解の出來る樣に編纂すゝめ西ヶ原の諸講師が實際家的記述の增進を最大目的とした點が本講義錄の誇りとする所である夫れに交配種の新式蠶法の學理と秘法を惜しげもなく公開して家事向都合の爲め入校し得ざる人にも入學した同樣に親切に教授し其の幸福を分ち蠶家の進歩を根絶せしめる點はたしかに他の類似講義錄の模倣し得ぬ一大特色です殊に本會員には本會特製の蠶種の分讓をなし試育に供します

◎三ケ月卒業◎會費貳圓五拾錢 會則申込次第進呈

東京麹町區有樂町 振替東京四二八五八 西ケ原蠶業普及會

輸出玩具有望

各國の輸入制限撤廢

…玩具供給國たらんとする觀あり米國に於ては輸入制限の撤廢を爲し英國其他も近く之に倣はん…即ち戰前僅に百萬圓内外なりし…

△生産の…の改善として一、資本の必要二、家内工業の必要三、職工道徳…

△取引上の欠點一、販賣方法の改…

條約寫本配附 ＝九日日本に發送＝

列國全權の署名を印刷せる講和條約寫本は支那全權の調印を缺ぎたる儘にて各國委員に配附されたるが其の文書は九日日本に發送さるべし（巴里電報）

佛軍事條約保留

佛國下院に於ける對獨講和條約委員會の國際聯盟に關する報告には講和條約批准を賛成せるも國際聯盟の決定實施につき軍備及軍事的手段の拘束に關する規定は將來に於て修正を爲す事とし保留を爲したり（巴里電報）

濠洲ニユーギニア管理權

舊獨領ニユーギニア諸島に對する濠洲の委任統治權は同諸島への移民及び物資に對する完全なる管理權を含むものなり（倫敦電報）

東海の實景に憧憬 西園侯佛首相訪問＝ク氏來朝か

西園寺侯は七日クレマンソー氏に訣別訪問をなし一時間に亘り懇談を交へたるがクレマンソー氏は首相辭任後是非共日本を訪ひ彼の廣重の繪に依り遊心動きつゝある東海道の實景を賞したしと語れりと（巴里電報）

獨政府危機迫る ＝反革命運動計畫＝

獨逸の革命後民主主義者に依て組織せられたる國民協會と商工業者及び官吏の團體たる商工協會最近會合を催しペラー將軍を主腦に戴き一千萬人の新團體を組織するに決し目下秘密裡に反革命を計畫中なりとの情報ありたるが一方國內に於ては同盟罷業頻發し獨立社會黨及びスパルタカス團は是に乘じて活動を開始したるが右黨に屬する强硬派は政府に肉薄せんとの形跡ありて現政府の運命は大に危まるゝに至れり（巴里電報）

獨條約履行如何 人民投票を妨ぐ

コツペンハーゲン來電＝獨逸官吏は中部シユレスウイッヒ第三區に於て人民投票に關する書類を押收し且つ丁抹に合併を賛成する人々を逮捕したり獨逸當局の此行動は講和條約を履行する誠意なき證據として批難せらる（シドニー電報）

フユーメ伊佛兵市街戰

六日フユーメに於て伊佛兩國兵士間に市街戰行はれ事態頗る重大なりと觀察さる（巴里電報）

佛下院政府援助 外相の檢閱廢止戒嚴令撤廢回答

佛國下院に於て外相ピション氏は檢閱廢止戒嚴令の撤廢を要求したる質問に答へて獨逸官傳者防壓の必要ある事を指摘し且つ佛國は講和會議の中心にありこの特別形勢につき下院に注意を喚起し（外國新聞及び外國の商業的利益は此の形勢より打算せざる可からずといひ檢閱及戒嚴令は何れも對獨講和批准と共に終末に歸すべしと附加したり下院は二百二對二百五十六の大多數を以て政府の態度を援助したり（巴里電報）

五國會議 兩地攻略贊意

五國會議は芬蘭軍が露都を及オムスク政府軍が莫斯科を攻略せんとする計畫に贊意を表したり（巴里電報）

英國失業廿五萬

英國政府は極めて重大な失業問題に逢着し居れるが失業者の數二十五萬人以上に達せり（倫敦電報）

工藝品の改善 岡本商務局長談

改善を圖る爲に大正二年以來毎年工藝展覽會を開きつゝあるも製作品の意匠圖案の改善を目的……用品なるを問はず凡ての工藝的に對する一般の趣味の向上を計り以て戰後的世界競爭に備へんとするものにして……

ダゴール榮稱辭退 英官憲の措置を苛酷なりとして

印度詩聖ダゴール氏は印度騷亂に對する英國官憲の措置苛酷なりとて是を憤慨し印度總督に對し勳爵の榮稱を辭する旨申し出でたりと（栗所著＝東京特電）

膠州灣問題と總統令

外務省著電＝十日附大總統令を以て舉に新聞に掲載されたる六月二十八日巴里全權委員來電の大要を摘記したる後今回の膠州灣問題は日支獨三國間の關係なるに就き講和會議に於て最初の希望を達し得ざるは內外の狀勢に顧み痛心に堪へずと雖も問題の來る處一朝一夕の故に非ず今日調印不調印を以て終了すべきに非ず爾後益々緊維を加ふべし協約各友邦の善意を最も重視し國際地位の安全を計らざるべからず我が國民は我が國家の孤立し能はざるを知り政府及び全權委員をして畫策せしめ上下一致時艱を救ふべく努むべし（東京特電）

周樹模內閣頓挫 安福派の妨害＝田內閣組織計畫＝陰幕には段祺瑞

北京內閣は依然行惱みの狀態にあり周樹模內閣は安福派の妨害に依り到底成立不可能の狀態に陷り其の結果安福派は昨今頻りに田文烈氏を擁立して新內閣を組織せしめんと種々運動を試みつゝあるが此の裏面には段祺瑞徐樹錚氏等の一派が畫策を廻らし居るは顯著なる事實にて段派は一時田內閣を成立せしめ二年前の軍閥全盛時代に轉回せしめんと畫策し居るものゝ如し（北京電報）

朱啓鈐南下固辭 北京政府和議續開焦慮

北京政府にては和議續開を一日も早からしめんと焦慮しつゝあり朱啓鈐氏の南下を督促すれど朱氏是を肯んぜず代表を固辭しつゝあり（北京電報）

文武官併用骨子 總督府官制改正決定期

朝鮮總督府官制改正案は總督の文武官併用を骨子として製作され既に政府より樞密院に廻附せられ目下同院特別委員會の手許にあり大體樞府の諒解を得居るを以て同特別委員會は十四日午前十時より正式會議を開き當日政府より原首相以下關係當局者の出席說明あるべきが遲くも來週中には本會議を開き正式決定の筈なりと（東京特電）

袁秘書長轉任

巡閱使の智囊と稱せられつゝある秘書長袁金鎧氏は孫黑龍江督軍の懇請に依り其の補佐役として黑龍省に赴任することゝなりたりと（奉天特電）

森總領事發期

濟南府在勤を命ぜられたる總領事森安三郎氏は十六日午後九時二十分發列車にて大連に赴き旅順大連各所訪問二十二日出帆の神戶丸にて青島に直航任地濟南に向ふことに決定せり（安東縣電報）

奔騰抑制策 輸出禁止と公定價格

國家政策上 官營事業

糖價の是非得失は茲に論ずる必要なきが目下狂的相場を現出せる砂糖の如きを官營となすは其の得失より打算して寧ろ適切なる政策に非ざるかを思ふ、凡そ官營は其の生產に對する消費力の伸縮自在なる能はざる缺點ある事且官營後の消費關係の立證する處の如しと雖も市價を公定して需要者より不安の念を一掃し一面需給の調節を得るは官營に優るものなし日本の經濟界の現狀を以てしては猶官營事業の適當其適切なる一例證は郵便制殊に貯金事業において顯著なる效果を實現し居れり

砂糖專賣制

の如きは是を煙草鹽等の專賣と比較して寧ろ適切なりといふを得べし即ち（一）產地の一定せざるは其の管理の容易なること（二）等しく生活品と雖も米穀の如き絕對品にあらざること（三）世界的供給不足に基づく暴騰と雖も猶日本に於ける需給は事實上左したる均衡を失し居るにあらざるに係はらず最近の狂的相場を現出したるは全く商人筋の氣配に煽られたる傾向ある等に鑑みれば官營を實行する適切なる機會なりと斷じ得べし然れども目下の應急政策としては官營の實行よりは寧ろ

輸出の禁止

若くは砂糖の公定價格の設定等の對策なるべし彼の糖業者が砂糖禁輸を以て將來供給不足を告げたる曉生產地の報復手段を恐るゝの理由を以て禁輸に反對するものあれ共這は我砂糖の輸出先きと世界の砂糖產地とを比較せば自ら無用の杞憂たるを悟るに至るべし公定價額の如きは高値の頂上に登りたる今日時機を失したるやの感あれ共尚公定の餘地あるべし（某實業家談）

電信增設計畫 總額一億圓

遞信省所管九年度豫算編成は通信局長更迭のため豫定より多少遲延したるが愈々三四日中には概算纏まるべきを以て省議決定次第大藏省に廻附せらるべきが九年度に於ては本年度に比し本省の經常費のみにても約二千萬圓の增加を見るべく之れに新規要費を合する時は總額約一億五六千萬圓に達すべき模樣なり而して新事業中の重要なるものは電信電話增設擴張並に新航路補助等なるが就中電信線路增設に就ては電信利用率の著しき增加に鑑み大擴張を行ふ計畫にて未だ全く決定に至らざる由なるが本年度の如く二百二十五萬圓位を以て年々一時的の彌縫策を講ずるも到底通信の輻輳は免れ難き趨勢にあれば九年度より五箇年若くは八箇年繼續計畫にて總額一億圓內外を以て最も輻輳し且急を要する電信線路より增設擴張せんとするもの、如くこれが財源は公債に求むること、なるべしと（東京）

獨逸今後の憂患 國際政局展開

目下獨逸の最も苦痛とする所は戰後の產業、經濟問題であるが產業開發の爲に困難となれるは原料品の供給が戰前と比し然る事情を激變せる事で石炭及び鐵の如きは從來の生產に對し過半は領地の割讓と共に之を失つたので以後は之れを他國に仰がなくてはならぬ、米國の經濟批評家は斯の如きは戰後の經濟界が平常に復し關稅の障壁が撤去されれば獨逸は此點何等の痛痒を感ぜぬであらう』と云つてゐるが此種の說は殆んど耳を傾くるに足らぬ、產業上の霸を稱せんとして遂に其障碍に會し目的を達し得ないのは原料の獨立が出來ない爲めである英國の原料が如何にして本國に輸入され此の目的を達する爲め英國が如何なる政策を立してゐるか、何故に其の海權を高唱してゐるかは一隻眼を有する者にはすぐ合點のゆく事である。而して獨逸が產業革新の爲めにとらざる可からざる唯一の道は海外貿易にあるも其の

海外貿易

も亦船腹の不足によりて充分なる活動を示す能はざる事は論ずるまでもない而して此不便に打ち勝つの途は果して獨逸が如何なる程度に於て商船の建造をなし得るかの問題に依りて決せらるゝのであるが、既に其の原料の供給に充分でない獨逸としては之が爲めにも亦少からず困難を感ぜざるを得ない。此問題は獨逸の植民地問題と併せ論ぜなくてはならない、去ら乍ら英國をして其希望を達せしむるためには必ずや將來の禍因と之より發生せんとは米國一般の輿論であつた然るに之れを

國際聯盟

の樹立と共に同權の下に委任せしむるに至つたのは國際政局の一新局面である。去れど當時時代の聲となりて高唱せられてゐる國際聯盟權の委任統治なるものは決して永存すべき性質のものでない、近く一例を引くならば墺國のボスニヤ併合の如きは之れで同地は一八七八年伯林會議に於て墺國の委任統治に附託したのであるがそれは歐洲戰亂勃發と共に帝國的併合になつたのである、それで要するに委任統治と云ふのは一種の口實で事實は併合に他ならぬ、少くとも斯くなる可き性質のものである次に吾人の爲に一時最も

風雲の急

を告げた所のものは所謂山東省問題で單り日本と云はず世界の人心をして著しく事件の進捗に注意を喚起る時は平和會議に於て最も利權に與つた國は英國であるがしかし將來果して如何なる局面を展開するかは問題である公海の自由の如きは著しく英國の期待に反したのであるが、英國は世界の制海權を獨占しやうと云ふのが其の主張で、更に海上の通路は英國海軍之が警備に任ずるであらうと公言してゐる、去れど英國が果して之れに堪へ得る財源を有し有するも之を支出するや否やは問題で、他面米國との間に海權の

爭奪戰

は既に開始せられてゐる、當時稍小康を得たりと雖も內情に他日の備へをなしてゐる事は瞭然である、英米海國の爭霸戰雲を起し雨を呼ばゞ大西洋の水は決して靜穩ではない、同時に歐洲全土に餘波の及ぶ事は云ふまでもない。今後の世界は英語國民の全盛時代を現ずるであらうしかし分裂は既に其の兆候を明かにしてゐる、唯之れを能く防止するか否かは國際政治の運行に待たなくてはならぬ。次に四月下旬愈々其の樹立を決定せる國際聯盟が如何に國際政局に影響したかの問題であるが、之れは別として、茲に注目すべきは米國の

臨時議會

の召集で、吾今尚ほ國際聯盟に反對の氣勢より召集したもので、共和黨所屬の上下兩院議員は共に異口同音に大統領ウイルソン氏が巴里に……を示してゐる

天津最近事情

此程天津より歸來せる某氏の談に曰く天津は日貨排斥尚永續の見込にて支那商人は日本品を買込み居たるも案外早く平穩に歸せるより思惑外の氣味あり一般貿易は漸々にて打擊少し本月四日米國獨立祭には聯合軍の閱兵式を行ひ日本兵も一個中隊參加したり獨逸租界に在る銅像は破壞され此大通をウイルソン街と命名したるが或は米國租界となるやの風評あり目下日本と支那官憲とは金谷司令官の斡旋にて好調に進み平和祝賀祭の折には觀兵式を催し兵營內を一般內外人に縱覽せしむるなど非常に好都合に趣き居れり天津稅關の日本婦人涉辱事件は其後日本領事より嚴重なる抗議の結果今後一切斯ることを爲さゞると云ふことゝなり居れり昨今日本人は男女を問はず外出の際は袴を穿くこと〻なり違犯する者は一兩の科料を課せらるべし又昨今支那人間には救國の歌と稱する歌を各方に撒き今にして救はれざれば亡國となるべし奮起せば背後には大なる援助ありとの意味を含みたる歌を盛んに唄ひつゝあり

朝鮮米の輸送 某大銀行の斡旋

某大銀行の仁川並に鎭南浦に於て金融を附し居れる朝鮮米の內約六千石は東京方面に移出可能のものにつき同行主腦者より秘密裡に遞信大臣に配船を申請したりこの事にて日本郵船會社にては十二日右六千石を主としその他の積荷の斡旋方を某方面に交涉し來りたる模樣なるが近く日本郵船より更に鮮米積取船を差向くべし

株式界の前途

近時株界に於て明かに二大分野の看取せらるゝあり即ち一は專ら市場の氣味及び其取組の增加に順應して動もすれば賣り氣に傾かんとする所謂玄人筋の一派と他は財政の大勢と會社營業の良好とを確信し飽迄も買方針を立つる素人筋の一派之れなり而して今日迄に於ける商戰に徵するに素人筋は成功し玄人筋は失敗を取りつゝあるが今後に於ても財界に一大變調を來さゞる限り此の檄や動かざるに非ざるかと思惟さる今次の臨時軍事費支辨の名に依り國庫債券八千萬圓發行の件發表に依り十二日東株は十五圓七十錢安の三百九圓二十錢同新は十圓六十錢安の三百三圓五十錢に暴落し將に三百圓を割らんとせるが他の雜株は比較的下げ遲りたるは否むべからず之を以て未だ眞の大勢惡化と稱し難きものあり殊に物價騰貴は寧ろ世界の大勢なれば獨り我國の左右し得るところにあらざるを以て今次の國庫債券の發行によりて直ちに物價下落を誘引し得べしとも思はれず從つて株界は目先一段の低落を示すとも其は好個の押し目として再び買意は强く買方の利喰と共に反動を呈するに非ざるかと

棉布思惑再發

棉絲布は夏期に入りては需要期にあらざれども其の取引は少からざるが右は棉布五百圓說等喧傳せられ然らざるも近來定期の動搖に伴なひ騰落盛ならざるを以て地場同業者間の取引多きに至りしものにて如し昨秋鐘紡事件の突發後棉絲布の思惑的地場取引は一時影を減したるも近來又復此の傾向を誘致したるも多少興味を缺ぎ居りとの聲あり

釜山商內出來

內地期米は前日後場止の高値を報つたるより釜山市場は十三日又復三四十錢高を唱へ三等袖力四十一圓五十錢ところにて五六千叺商內出來せり大豆は商內閑散氣配變化なし（釜山特電）

吉田精米許可

仁川吉田秀次郎氏外一氏の出願に係る合資會社吉田精米所設立に關する件は七月十一日附許可の指令ありたり

大阪財界便り

正米市場問題

大阪商業會議所にては正米市場設置に關し過般來種々考究中なりしが今回總會の決議を經左記意見書を內閣總理大臣並に農商務大臣に提出する筈

我大阪市に正米市場設置の議あることは殆んど十數年來の懸案にして殊に近年主要食料品たる米價の調節上正米市場の必要を感ずること一層切實なるに至れり從來は多少定期市場の公定相場を以て正米相場の標準たらしむることを得たりしも今日に於ては兩市場殆ど沒交涉に陷り殊に定期取引に米代用制の採用せられて以來定期市場の公定相場は內地正米相場に對し無關係となり今や正米相場は

全く無標準

に陷れり此の如きは要するに正米市場の設置なき結果にして之れを彼の深川若くは兵庫に於ける正米市場の例に徵するに大阪の正米取引上に於ける不便は實に思半に過ぐるものあるのみならず延いて之に伴ふ弊害も亦尠少に非ず是れ吾人が米の大消費地にして且集散地として相當額に達する大阪に此際正米市場を設置するを最も急務なりとする所以なり尤も正米市場は定期市場と密接の關係を有すること勿論なりと雖も由來正米相場は當該消費地に於ける廻著米の狀況に依り騰落するものなれば一地方に局限せらるゝに反し期米相場は現實の性質を有すると全國に亘り且つ見越的の性質を有し兩々其の趣きを異にするが故に少くとも大都市に於ては兩々各別箇の方面に利用せられ從つて兩市場互に相侵すことなし加之正米市場の設置は萬民をして容易に其の

持米を處分せしめ

得るが故に啻に消費者のみならず生產者も其の利益に均霑する事を得但し正米市場と雖も時に或は一部投機者流の之を惡用することなきを保し難きを以て其の弊害を未發に防止するの手段を講ずるの要あるは勿論也依つて相當の取締方法の下に我大阪に政府公認の正米市場を設置せしめられん事を乞ふ右本所の決議に依り意見開申候也

思惑筋大恐慌

當地市場に於て政府が物價調節を斷行すべしとの風評流布に對し肥に倚持つ思惑筋乃至强氣筋は大恐慌を來しつゝ有しが最近に至り政府の方針は風說を著々具體化せんとし物價調節、通貨收縮の意味を含める公債募集を急速に行はんとしつゝあり其他如何なる調節策が實現さるゝか思惑筋は戰々恟々の狀態にありしが爲め强氣筋の嫌氣投の續出となり株式市場も一齊に崩落し九日後場大引けは大株三百十圓と前日より二十九圓方慘落し又久しく天井知らずの狂騰を持續せし棉絲相場も常限五百三十七圓と前日より二十七圓七十錢方瓦落し期米も三十七圓六十六錢と六十二錢を告げたるが殊に異常の狂騰を演ぜる棉絲相場は米印棉共高報ありしにも拘らず三十圓の大瓦落を演ぜるを以て思惑的取引が如何に殷盛を極め不自然なる相場を示しつゝありしかを知るに足る而して砂糖地金其他重要商品は今尚惰勢により狂騰を演じつゝあるも若し此の反動が當分持續せんか更に他の商品に影響を及ぼすべきを以て茲兩三日の市場の人氣が如何に展開するかは頗る興味ある問題といふべし（大阪）

人事消息

▲京鮮銀安東支店長 十三日夜退城
▲福富殖產新義州支店長 十三日夜退城

鳥瞰錄

近來京城を始め朝鮮一帶に株式熱が盛んになつて來たが仁取や仁倉株では其處此處に小成金が簇出した樣だ▲一昨年迄京城にタツタ一軒しか無かつた仲買店も今は早十軒を數ふるに至つたが何れも近來大繁昌▲米が騰つて東京では五十八錢に成つた此の分じや幾ら上るか分らない▲近頃內地の勞働者は移住鮮人に見倣らつて粟を食ひ出したが外米よりは餘程甘いと大評判▲政府が石三十圓も補給して人の嫌がる外米を輸入するよりは滿洲粟の百萬石も引いた方がヨツポド氣が利いてると主張する人がある▲今月に入つてから砂糖が恐ろしう上つて來て甘黨大打擊の折柄麥粉が頭を擡げて御菓子の値上が眼前に迫つて來た▲今年は甘黨の辛い年と云ひたいが上つたのは砂糖許りぢやない酒も麥酒も上つて居る▲京城の砂糖成金は玄人許りと思ひの外、素人の成金もあるさうだから凄くテ

咸興埠商活躍 咸興金

……組合出願の日に增加し來れ……布商間に於て盛んに思惑賣買行はれ近來駸々の資金需要夥しくなるもの、如し

南浦金融經濟（六月中）

……は近時著しき進境を示し來れ……强調を持續し隨つて當地相場……强含みにて地方在米の回收を促……內地相場不振に陷りしため取引上中旬內地……打擊を受け尚ほ相當の……

MITSUWA COMPOUND GINSENG TABLETS. 100 tablets ¥ .70 500 tablets ¥ 3.00

This new remedy, which contains Iodine and Bromine, is prepared from Ginseng an infallible remedy from ancient time to the pressent. As it contains Iodine, it is efficacious for aneurism, arteriosclerosis, apoplexy and other numerous heart diseases. It is also unrivalled for hysteria, nervous palpitation, vertigo, congestion of the brain and other nervous diseases, because Bromine is mixed with Ginseng, which has in itself the wonderful effects of sedateness.

實驗的研究に依て效力を確認せられたる

ミツワ複方人參錠

定價 百錠入金七拾錢 五百錠入金參圓 內地以外は關稅運賃を加ふ

主效 動脈硬化、動脈瘤、腦溢血、神經性心悸亢進、心臟肥大、脂肪心、心臟內膜炎、心囊炎、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、營養不良、精力減退、老衰

本劑はミツワ化學研究所に於て實驗的に研究せる人參を主藥とし、之に沃度及臭素劑を配合せるものにして、人參は鎮靜、催眠、利尿、興奮、强壯等の諸作用を呈し、沃度劑は變質作用を具へ、病的產物の吸收並に排泄を促し、健全なる細胞を新生せしめ、且血管壁に於ける石灰沈著を防ぎ、血液の粘度を減少し及血管の擴大を誘起し、臭素劑は鎮靜作用を有し、中樞神經系に於ける知覺並運動裝置の興奮性を下降せしむるが故に、三者相俟ちて神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、神經性心悸亢進に偉效を現はし、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血をも治し得べく、動脈硬化、腦溢血及諸種の心臟疾患に卓效を擧げ、腎臟炎に於ける尿異常、浮腫等を除き、營養不良並に貧血の諸徵を回復し、尚老衰を防ぎて能く精力を增進する等の著效を奏す。

ミツワ複方人參錠適應諸症候

一、心悸の亢ぶり易い人
一、心臟部の壓められるやうな人
一、心臟部の苦しい人
一、心臟部の痛い人
一、心臟に故障のある人
一、呼吸の促つて苦しい人
一、胸の內の苦しい人
一、中風の氣の人
一、半身不隨の人
一、卒中を豫防したい人
一、動脈の硬くなつて居る人
一、手足の冷ゆる人
一、水腫のある人
一、腰の懈怠い人
一、肉の凝縮んで居る人
一、皮膚の弛むで居る人
一、顏色の蒼褪めて居る人
一、頭痛に惱む人
一、眩暈に苦む人
一、時々氣を失ふ人
一、元氣良く活動したい人
一、延命長壽を願ふ人
一、神經衰弱の人
一、ヒステリーの人
一、以上の他ミツワ人參錠を服むべき人は之を用ひて宜し

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.70

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき

ミツワ規那鐵葡萄酒

定價 壹瓶 金壹圓七拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絕

本品は山梨縣宮崎葡萄酒釀造所釀製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に容易に攝取する憂ひなく規那、鐵及び葡萄酒の健胃、補血、興奮、强壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、營養不良、慢性の發熱並に下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後並に病後の衰弱一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり

如斯人は滋養料ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし

一、食事の進まぬ病人
一、發熱の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ程でも無く何となく感冒に罹り易い人
一、產前產後の滋養を圖りたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色蒼く肉瘦せ活潑ならぬ人所謂腺病質の人
一、腺病即ち瘰癧に罹つて居る人
一、頸細く瘦け咳嗽や痰の人並よりも多く出る人
一、所謂結核性素質の人
一、下痢の永く續いて居る人
一、萎黃病など血液の病に罹て居る人
一、肺結核や肋膜炎、腸結核、腹膜炎、其他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、右の如き病で發熱の永く續いて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に侵されて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心の病に罹されて居る人

發賣品目錄御申越次第送呈 ミツワ石鹼本舖 東京日本橋區橘町 丸見屋商店

先進國に一籌を輸せざる可から以て目的とするものに非ず要は…應用の範圍擴張を促し我國のざる事は實に遺憾なり之が進歩唯輸出品たると日常品なると實に工藝品の改善發達を圖り工藝品の進歩改善に努力せられんことを切望せざるを得ず(東京)

…綿絲布の如きは愈々目先強硬にして而も品薄の關係上鮮人綿は希望を充す能はざる由なるが感興經濟界に於ける鮮人の活躍の姿なりしも復又穏顯したる爲め正米市場も之れに伴ない依然かば在荷漸次消化さるゝに至れり、大豆は本月に入りて昇天頃を唱へしが相場呼び値のみにて取引皆無の有樣なりしが六月綿布雜穀類諸雜貨原料等は月初頃行良好なりしが追々閑散期に內

中夏の一日を有益に
且つ愉快に―水道見學
凉風に熱さを忘れ乍ら漢江を下りて
我社主催第三回婦人見學團

十三日午前九時四十分往十里の電車終點を發したる我社主催第三回婦人見學團の一行は眩しい朝の光を浴び乍ら約三十町を徒歩で纛島水源地に向つた洪水の道路は幾箇所となく傷んで居たが京城憲兵分隊纛島駐在所の取計らひで特に一行の爲に修理を施し或は砂を布き水を撒き所長自ら一行を途中まで出迎へて呉れたのは團員に取つて快いもの

の一つで且つ深く謝す次第である一行はやがて水源地に著いて構内裏手の漢江河岸に設けられた休憩所に入つた、楊柳の並木の中に天幕を張り萬國旗を飾つた休憩所には、氷を盛つた洗面所、氷冷麥茶接待所などがあり妾見まで備へ付けられてあるので團員は大喜び、早速氷の水で火照つた顏を拭き冷たい麥茶を啜つて咽喉を潤し腰を下して足を伸すもあり滾々たる江上を渡つて來る凉風に袂を吹かすもあり自由に休憩すること約一時間此間水道係からは接待の菓子包及び京城仁川兩水道の梗概、水道の利益を記した刷物等を團員各自に配付し遺漏なく全員を四分して實地に見學して廻ることゝなつた。

恁ふお手數を掛ては滅多に水も浪費されませんわ

取水口、吸揚井、藥品混合池、沈澱池、濾過池、淨水池、機關室、配水池、量水器室、水管等順次に見且つ聽く中にも機關室の大仕掛けなこと、濾過池の大きなこと、沈澱池の廣さは殊に團員を驚かせた。一應見學を終つて再び休憩所に集まると恰も團員の眼前に特に設けられた淨水池作業順序の説明圖揭示板や模型其他の參考品に依つて『貴女方一人で一日に是丈けの水を使はれます』とか『井戸の水は斯んな黴菌が居ります』とか一々原料或は模型又は數字等に依つての平易簡明な説明があつたので『斯う手數を掛けては滅多に水も浪費されぬ』『衛生を守るには水道の水に限る』と充分に了解した人が多く中には熱心に質問したり筆記したりする人もあつた。それが濟むと一同はサクラビールから滿船飾を施して呉れた四艘の船に分乘して愈々鷺梁津の仁川水道に向つて漢江下りをすることになつた。

清流に棹す
兩岸の風光目迭に遑あらず

四艘の船が岸を放れ江心に向つて漕ぎ出された時は恰も正午を過ぐる半時であつたので團員一同直ちに辨當を開き而筋を頼りに動かし乍ら船同士に喝采を送るやら兩岸の景色を嘆賞するやらで船中には一脈の温情が流れ初めた。爽凉水の如き江風に送られ乍ら進航する船の左右には風を孕んで廻航する帆船あり網を投ぐる者あり釣を垂るゝ人あり宛ら繪卷を繰るの觀あり、歡談笑語に耽り或は凉風に微睡むこと約二時間半にして船は鷺梁津の人道橋下に著いた

虹を描いて
五彩の噴水
團員の恐悦

船が人道橋下に著くと秋田水道係主任を始め水道係員一同及び洪始興郡守殿村永登浦面長、官坂始興郡書記其他多數の出迎へを受け一同上陸、江面に突出した取水塔を見學して水道の庭園に入つた。庭園の入口では水道からの厚意になる菓子包が團員一同に配られ、休憩所前面の池には團員歡迎の爲め特に噴水を仕掛け噴露五彩の虹を描く状は見るからに萬斛の凉味を覺へしめ團員一同只管恐悦した。茲でも京城水道同樣一應の見學をして暫時休憩し往十里の園藝協會から贈られた草花を手にし乍ら團員が解散したのは午後四時半であつた因に此の見學中多數の團員諸氏が暑氣にも怯けず船にも醉はず誰一人の病者も出さずして一同元氣に愉快に見學を終へたこと及び京城仁川兩水道係員諸氏が至れり盡せりの厚意を寄せられたのと、憲兵、警察官憲が特に力を添へられたとに對し厚く感謝の意を表し置く。

豐明殿の御祝宴
兩陛下、內外臣僚を召し親しく玉盞を傾け給ふ

天皇皇后兩陛下には十二日午後七時より宮中豐明殿に各皇族李王世子殿下を始め各國大公使原首相以下各國務大臣各元帥長谷川朝鮮總督其他勅任一等以上の文武官及び同夫人等約二百五十名を召され講和條約調印の御祝宴を催ふさせられしが東宮殿下にも御參列あり　兩陛下親しく玉盞を傾けさせられ參列諸員一同祝酒を酌み　兩陛下には御機嫌麗しく入御あり芽出度御祝宴を終らせられたり(東京特電)

(右)仁川水道取水塔(上)京城水道休憩所に於ける模型及び參考品に就ての說明(下)船中の團員

問題の暑中休暇
短縮するは面白くない
弓削學務局長は語る

學生の喜ぶ夏季休業の時期が近まつた、(朝鮮は今年から比較的に凌ぎ易い夏の休みを短くして寒くて通學にも困難な冬の休みを長くしたら善からう)と云ふ議論が教育家の間に起つて居る。大分問題になつて居つたので總督府に弓削學務局長を訪問すると(其話しが無いでもなかつたが本年は大體に於て例年の通りにと云ふ事に決定した一體夏休みと冬休みは全然別問題で夏を短くして冬を長くすると云ふが如く相互的に考ふるものでないと思ふ、夏は凌ぎ易いようでもイザ實際に學業を授くるとなると兒童が疲勞して倦怠を覺ゆるとが一通りでない、又兒童が家庭に在つて海水浴に行くとか一家揃うて旅行するとか或は內地へ行つて來るとかいろ〱見聞を擴うして學校教場以外での教育を受くる爲にも利用せられ兒童の保健上から云ふても必要なのである、又教師の方から云ふても此期間を利用して講習會に出席して自己の修養に資し或は旅行を試みて見聞を博うするなど此短い期間をいろ〱の意味に使用しつゝあるのであるから期間を短縮するのはよくあるまいと思ふ)云々

各務ヶ原に移轉
航空第一大隊

所澤航空第一大隊は各務ヶ原に移轉するに決定せり(東京特電)

板伯容態不安

板垣伯の容態は昨今面白からず(東京特電)

須く減食せよ
見よ大喰ひの痩男を

諸物價は戰前から見ると二十一二割方の騰貴で米以下皆官民一致して解決すべきであると生活法の研究者額田醫學博士は語る『米の代用品研究も好いがも少し當局に根本問題を考へて貰ひたい米を國民が腹一杯に詰め込んでも健康が優れなかつたら徒らに人蔘を澤山作る許りで身にも皮にもなるものぢやない大飯喰ひの痩男はごろ〱する程あるが之れは美味粗食の關係でなく健康不健康は原因してゐるのだ諸官廳會社でも上役程不規律だから增俸を騒ぐよりも執務時間を短縮するなり規律を立てるなりして健康增進を計るべきである身體さへ達者なら一日二合五勺位の米食で十分だ一人一年の米食は一石二斗で私は少食論者だ元來日本人は西洋人に比べて食物が下等に心得てゐるが之は大いなる誤りで鰯等は西洋では鯛よりも珍重がられてる又外米は臭いとて食ないが一流の洋食店あたりのライスカレーは皆外米を使つてゐるのである今の國民全般が健康を心掛けても少し小食に甘んずれば外米の輸入を仰ぐ必要も無し若し輸入の曉には內地米八合に外米二合位を混ぜて喰る樣にしたい私は曾て勞働者の辨當の調べをしてたが副食物は多く梅干や香の物であつたが少し改めて馬鈴薯、薩摩薯と云つた樣な澱粉質の物を割るのが好いさすれば一日に五六合の米を食ふ必要はなくなるのである』(東京)

不忍池畔の家庭博
十日から開會

上野不忍池畔に新裝を凝らした平和記念家庭博覽會は十日午前十一時開會式を擧行した、會の趣向は

飽迄凉味 たつぷりに

出來上がり正門に入ると直ぐ左に日本三景やナイヤガラ瀑布など清凉掬すべき情趣に充ちて居るが會場の大部分は例に依て賣食を脫せぬ賣店のみ打ち並んで何等興趣の見るべきものはないが最も奥の一棟今や世界の話題の舞臺となつてるヴェルサイユの

宮殿に模

して宛らの殿樓を現出し壁間に五十四條の歐洲戰況の油畫を揭げ五大國の講和大使の石膏像を配いたなぞは一寸奇抜な企てゞある、開會式は此宮殿に於て德川賴倫侯、村井男爵に依つて行はれ阪谷男の萬歲三唱があつた

昌慶苑 愈々開いた
河馬が養子に

昨日は三千名以上の入場者があつた

久しく閉鎖中であつた昌慶苑が愈々十三日の日曜日から開かれたので久し振りに動物の顏を見ながら緑陰下に一日を凉しく遊ばうと云ふ老幼男女がゾロ〱と押し寄せ午後三時頃迄にはザット三千の入苑者があつた動物どもは此の不意の闖入者に驚いたやうな又面喰つたやうな怪訝な顏をして居たが忽ち馴れて子供達から御馳走をドッサリ貰つて喜んで居た▲一昨年生れの仔河馬は今回上野動物園に二萬圓で賣られることゝなつたが相變らず元氣なもので親河馬と共に樂さうに水の中を泳ぎ廻つて居る▲養子先の上野動物園では此の珍客を收容する爲に二萬圓を投じて三方赤煉瓦の立派な園家を建築中で愈々是が竣成したら瀧川技手が受取の爲め來城するさうである

大連虎疫
蔓延の兆
支那人某の罹疫

大連市內用地居住支那人某は十三日虎列拉に罹りたるが當地にては常に蔓延の兆候あるを以て各海水浴場に於ける遊泳は禁ぜられたり(大連特電)

天井知らずの米相場
市內小賣商、昨日又も値上げを協議す
米は有り餘る程有るのに何故斯んなに騰る乎

砂糖の狂的騰貴に驚き呆れて居る間に我々の生活に一日も缺ぐ事の出來ぬ白米も亦恐ろしい勢ひを以て上り始めた、一升四十五錢と云ふ朝鮮始まつて以來の新高値を現はしたのはツイ二三日前であつたがそれでも尚ほ卸値が高くて

遣り切れぬ

とあつて小賣同業者は十五日の總會を十三日に繰上げて又復値上げの相談を開く事になつた其の結果五厘上げるか一錢上げるかは本稿締切りまでにはまだ判らなかつたが此調子では一升五十錢の米を喰はねばならぬ事になるかも知れぬこう上がるのも米が足らぬからかと云ふにさうでもないらしい

政府の調査

に依ると本年の內地に於ける人口が五千七百二十四萬三千二百人で平均一人一年一石八合喰ふとして六千百八十二萬二千六百五十六石要る之れに對して昨年の內地實收高は五千四百六十九萬九千百六十八石しかないが昨年十一月から

本年六月迄

に外米其他の輸移入米が六百十六萬九千七百三十九石ある此內內地より輸移出したのが昨年十一月から本年四月迄の計算で九萬六千七十六石あるから之れを差引くと結局內地在米高六千七十七萬二千八百三十一石となる之れを右需要高と比較すると

約百萬石位

の不足にしかならぬ然るに昨年十一月よりの本年十月末に至る一箇年の朝鮮臺灣よりの移入豫定總額は約四百萬石にして既に六月迄に移入した額は二百二十二萬六千餘石に達して居るから殘りの百八十萬石は移入せずとも八十萬石の供給過剩となる譯である之に

今後の外米

輸入なきを加算すると本年十一月迄に約三百萬石位超越する事になつて居るにも拘らず東京で一升五十七錢以上もするのは實に不自然極まる高値であるそれは勿論勞銀の騰貴で生產費を多く要する事も一原因には違ひないが農家の懷合が温かい處から賣り急ぐ必要を認めず端境期の高値を待つて

思惑買惜み

をして居るのが最大原因と云はねばならぬ內地が高ければ總ての標準がなくなるから政府は此際米穀收用令を布くか思ひ切つて官營を斷行するに非ざれば昨年夏の如き忌まはしき騒擾が再び起らぬとも限らぬと憂慮して居る向きが多い

運動界
教員本社見學

京城中學校に於て開催中の單級教授法講習會員京畿、忠淸南北、全羅南北、慶北の各道選拔教員十六名は十三日本社を參觀せり

南北庭球戰
北軍大捷

京城庭球南北戰は十三日午前九時から明治町三井物產コートで擧行された前週來南北は夫々作戰に餘念なかつたが愈々決戰の日が來たのである見物も却々多く決戰の序幕は矢野井田組が優退したので南軍の旗色は大いに色めいたが北軍にも驍將諸岡永野組の優退があり全く伯仲の勢だつたので試合は非常に緊張し其一球一球に見物は魅せられ恍らせられたが鮫島古賀組の奮戰に依つて北軍稍々優勝となり續いて大前の當り方甚だしく其元氣に於いて敵を呑んでゐたので池原立見組を三對零で破り佐藤齊藤組に勝つて優退南軍主將中川內藤組出て河合村松組を破り頽勢を挽回すべく努力したが岡部森組力戰して遂に遺憾乍ら三對二で岡部組の勝續いて南軍唯一の優退組矢野井田組は岡部森組と戰つたが遂に岡部組勝つて優退北軍は優退三組を殘して大捷し銀盃は再び北軍の手に委ねられた時に二時三十分。スコーア左の通り

南軍		北軍
矢野 井田	…	栗原 福島
矢野 井田	…	村松 牧野
大島 中川	…	諸岡 永野
大田 若泉	…	諸岡 永野
永田 大內	…	鮫島 古賀
池原 立見	…	鮫島 古賀
池原 立見	…	松本 大前
佐藤 齊田	…	松本 大田
中川 內藤	…	河合 村松
中川 內藤	…	岡部 森
矢野 井田	…	岡部 森

京倶コート開き
却々盛況を極む

京城倶樂部では米倉町同倶樂部新設コート開き庭球大會を十三日午前九時から開催した此日は京城庭球南北戰があつたので色々の差支も尠なくなかつたやうである午前十一時遞信局長森安博士の手によつて始球式を行ひ戸賀崎氏審判の下に會員の紅白勝負あり午後から來賓の紅白試合があり壽司汁粉蕃麥の饗應に一同舌鼓を打ち午後六時盛況裡に閉會した當日のスコーア左の通り

○永井 綾田	…	岡 松野
○深美 黑川	…	土肥 眞子
○日南田 須古	…	花井 東
○森田 朴	…	岡本 岡本
閔屋 伊藤	…	中村 眞子
櫻井 來島	…	中尾 眞野
迫 松野	…	森安 神崎
○小林 伊藤	…	岩本 入木
○澤崎 山下	…	中村 來島
○小山谷 根田	…	吉木 西
○仲野 正木	…	櫻井 本間
○小林 木場	…	池田 近藤

來賓紅白試合

松村 永田	…	○山下 中島
○佐々木 中島	…	前田 岡部
長野 和田	…	○來島 中村
福島 栗原	…	○古賀 鮫島
○諸岡 大島	…	永野 河合

ス軍對本社

十二日午後五時より京中運動場に於いてスタンダード對本社の野球試合あり千村鈴木氏審判スタンダード軍の先攻で試合に入つたスタンダード軍は却々優勝であつたが本社軍又力戰し結局六回まで戰つた時夕闇漸く迫れる爲め暗くなつたので試合を中止した

胃腸全治 一道丸 下痢腹痛特效劑 大阪天滿橋 樋屋合資會社

物品購買廣告
一、石炭(塊炭)四拾貳萬斤
右購買ス詳細ハ七月十四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

自動車
運轉手技師販賣員となりて收入大なり甲種運轉手養成二箇月卒業其他支那科設計科及校外生募集外に無線電信科製圖科校外生募集
東京自動車學校 東京市京橋區
大阪自動車學校 大阪市岡町
福岡自動車講習所 福岡市中島町
開講東洋第一番の本校卒業生は

せきずい
病と手足引ツリ腰足不隨腰筋痛みシビレ等に效能正眞 お申込次第郵券二錢封入 類似藥に注意 兵庫縣明石西魚町 せきずい病專門藥本家 元木本家

宮內省御用 TS TRADEMARK
水道布設 煖房裝置 衛生設備 喞筒据付 諸機械 工事設計請負附屬諸材料輸入製作販賣
須賀商會大連出張所
大連市監部通二丁目(露亞銀行前)
本店大阪 支店東京 出張所名古屋・京都・住吉・神戸・博多・京城・青島・臺北
工作所 東京……大阪……神戸

京日案內
普通七十錢一回分(八號活字十六字詰) 番外一回分二十錢增 申込後中途掲載中止は料金不返戻 六回以上の申込は特に安割引 照會は返信附に非ざれば回答せず

乳母至急入用 京城南大門通五丁目六三 電話二七六四 早川酒會

留守居 夜間ノミ夫婦者
乳母 生後六七ヶ月ノ者 (姓名住址)

外務員招聘 御希望の方は毎日午前中來談を乞ふ(要保證人) 京城光化門通(電一四四七) 大藏大臣免許 大日本債券會社

女事務員採用 高等小學卒業以上の素養ある者本人來談 二旭町 商業興信所

鮮人給仕採用 年齡十五六歲普通學校卒業程度 太陽生命保險會社京城支部 若草町通 電二八九

外務員招聘 御希望の方は履歷書携帯午前中左記へ御來談を乞ふ 京城旭町一ノ一二三 第一生命朝鮮地方部長 堀田方

貧血しんぞう病 妙藥 野家家傳 一週分七〇錢 仁川 吉木油釀造場

絶對に他に類の無い新發明化粧料
ホーカーパット
天性の白さを現はす
淑女の薄化粧料 紳士の隱化粧料
賣早々各地に好評を得目下賣れ飛ぶが如し
○天性の美しい白さを表はす
○ツキが善く誰人の肌にも合ふ
○洗へば美しい色艷を表はす
○夏の薄化粧料として好評あり
○紳士の隱化粧料として一等
○匂ひ豐かに典麗さを增す
全國到る處小間物化粧品店洋品店に販賣す若し品切の節は本舖宛御註文下さい三錢切手代用にて直接本舖より
定價 一瓶金三十錢 送料內地六錢 滿鮮四十錢
ホーカー液本舖 東京神田和泉橋通 商店

丈夫で安い實用靴 ボックス革製
編上 甲四圓四十錢 乙四圓二十錢
深ゴム 甲五圓四十錢 乙五圓二十錢
ツブク靴店 東京牛込神樂町六〇 振替東京四一八八四番

粹珍畫 肉筆極彩色美麗 三錢切手七枚送れば直ちに密送す 東京神田區猿樂町

大阪有田ドラッグ商會 百圓進呈 京城本町 有田ドラッグ 朝鮮のにせ物 京城、龍山、仁川等各地ににせドラッグあり御注意を乞ふ 全國の都市に支店あり

會葬御禮
夫 清水彌二郎
男 勝江
男 甚三郎
親族總代 金月清吉 田中竹三郎 清水政市 藤岡愛次 名草源一郎
友人總代 大舘龜吉 小島竹松

みだれ咲き

第八十七回

島山碧波 作　森田久 畫

龍雄は宛ら姉のやうに萬事の世話を焼いて呉れる蓮子を卒然り信頼してしまつた、世の中のこと熟く知らぬ彼れは、自分達姉弟に大なる同情を寄せて呉れるばかりか、今は邸を去つて不遇に泣いて居る實母に對し、宛ら姉の様子と同じやうに其の薄命の境遇を泣いて呉れる蓮子の様子を眺め。

『世の中には斯んな親切な人もあるのに僕のお父様はどうしてあんな冷酷な眞似をなさつたのであらう、どうしてあんな血も涙も無い御行爲をなさつたのであらう』

親に至孝の龍雄は、他人より親切にされると益々實父の眞意を知るに苦しむのであつた。

『さうだ高輪のお祖父様が仰しやつた通り父う様は長い夢を見てゐらつしやるのだ』

斯んなことを小さな胸の裡に繰り返して居ると、最早此の朝の八時三十分に東京驛を發した下關行きの急行列車が梅田に著くと云はれ。

『あゝ左様ですか』

階上から瞰下す街頭は、電燈の光りに晝を欺くやうであつた

龍雄は手早く身仕度くをして。

『どうもお待たせしました、さア出掛けませう』

『まア、モウお仕度くが出來たんですか』

『ね、是れで宜いのです』

『ホヽヽ、隨分お早いのね、モウ直ぐと云つても三四十分ありますから、何ならお風呂へ入つて行らつしやつたらどうです』

蓮子は何から何までに氣を配つて親切の有りつたけを盡くして居る。

『僕は是れで結構です、湯に入つて風邪でも引くといけませんから止めませう』

『さうですか、夫れでは徐ろ〳〵出掛けませう』

『お陰様で疲れが大變休まりました』

『私もさうですわ、あのまゝ行つたところで下關で連絡船へ乘るのは同じ時間ですものね』

斯う云つた蓮子は、殊更に大きな聲を出して隣室に聽ゆるやうに云つた。

『眞ッ度くです、少しばかりの急行賃を惜んで居るより、特別急行で行つた方がどの位身體の疲勞が尠いか知れません』

年齡には早熟たことを云つた龍雄は、不可解千萬の蓮子の擧動には少しも氣が付かず。

『時に河合さん勘定はお幾らでせう』

『そんなものは宜いわ』

『でも半分は僕の負擔すべき義務があります』

『ホヽヽ大變六ヶ敷いのね、どうせ長い道中ですから後で何か買ふ時に若様に出して頂きますから此の家の勘定は私に拂はせて頂きます』

『夫では僕に梅田から下關までの急行賃を拂はせて頂きます』

『ホヽヽ、本當にお堅いね』

蓮子は殊更に嬌笑を洩らすのであつた、さうして二人は一龍軒を出ると、直ちに梅田驛に入つて程無く著いた下り特別急行の客となつた

『どうぞ此方へ？』

始めは大きく場席を取つた蓮子は驚て自分達二人の傍へ立つて席を求めて居る若紳士に席を讓つた、が青年紳士はタッタ今まで一龍軒の二階で二人の一擧一動に細心の注意を拂つて居た男とは、神ならぬ身の龍雄は少しも知らなかつた。

『どうも難有うございます』

青年紳士は二人に丁寧な會釋をして其處へ腰を下ろした、蓮子の隣に何氣無き風を裝つて腰を下した、さうしてインバネスの袂の下から、蓮子と輕く握手を交したが、龍雄は全然そんなことに氣が附かなかつた。

奇怪千萬の行動を執る二人よ、蓮子と此の青年紳士とは一體どんな關係があるのであらう、列車は今しも阪神間の宵闇を衝いて三ノ宮驛に著いた。

日報歌壇

我世捨てなむ

□ 寂 ユカ(旅順)

嫉かれどわがいとほしき人なればその幸さはに君な離れそ

あきらめや神の運命となまぬるき敎へ言はやき〱あきぬさよ

幽窓があるものならば君が面泛びても來よこのくらやみに

心にもなき人の爲めいとほしきわが生捨てなむ悲しき運命

今死なば『つくしこひし』と啼く蟲に我も來世は生れ出づらむ

□ 花村てふ路(京城)

たそがれの雜木林に鳥騷ぎふるさと戀ふる若人の笛

夕さびて樹かげに倚れば大空は木間ゆ瑠璃に澄みて見ゆかも

瑠璃に澄む夕の空よ故里のたまの河原の眼に浮ぶかも

思ひ佗びひとりし居ればうら悲し林に充てる黄昏の色

萎れてゆく樹の葉がくりに薄光りさやぎ出でたる水無月の星

寂しさに追はれて來つる雜林の上に夕の星ささやき出づ

□ 濱澤骨堂(鎭海)

何となくいらだゝしさに路端の小石を蹴つて歩む夕ぐれ

梅雨晴れの夜を座ろにも濱に出で沖の漁火見入りけるかも

□ 香原夢穏(群山)

櫨金色の濃き夏草の花光り百濟野平人は稀なり

大なる相の數樹に紫の花咲き満ちて光溢れり

□ 草野露彦(京城)

今は早君がみどりの黒髪のばらの花など見むよしもがな

寂しさの心なよにむけむとて薔薇の花を求め來れり

街路樹の葉鳴りの下に緋の衣を著けし異國の少女めぐしも

輕やかに行きたゝみ踏む緋の衣の異國少女は忘れかねつも

わびしらの目ざし悲めくこの大路白きパラソル一ツ行く見ゆ

眼閉づれば君面かげ銀皿の苺など見ゆ悲しき夕

歌反古より

矢橋 小龍

別れ來て柱に倚れば夕燒け雨さもならで暮れなむとする

母に添ひ小松がくれの春の雪踏みつゝ今日も詣でする

すや〱と母の寢に夜は更けぬ筆擱きて吸ふ煙草いとよし

玄關のベルを押せどもガラス戸を叩けど君を見むよしもなし

西伯利の大臣づれをオイと呼び紅茶を啜る夜の續きけり(浦鹽にて)

◇次の題(川柳)

◎大概(たいがい)●

(例)大概にすつて柿の皮をむき(古川柳)

(同)鰹の大概ないふ時油照(同)

(同)大概に濡れて傘借る家に寄り(傳兵衛)

◎日本●

(例)日本の言葉を知て腹を立て(古川柳)

(同)日本橋日本一の物が見え(同)

◎死んだ子●

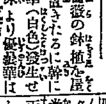
(依)死んだ子の年を孔子は數へ(劍花坊)

(同)死んだ子の年代が出來るまで(柔眞)

▲備考● 用紙端書、句數制限無し

◎實業講習録の發展 商店や銀行へ入りても小學校卒業だけの學力では處世の準備と素養に乏しい爲め立身榮達が出來ない、東京實業之日本社は是等の人の爲に僅か一ヶ年で卒業の出來る『實業講習録』を發行してゐるが卒業生も數十萬に達し會社銀行又は商店に於て重要の地位を占めるに至つた人も亦極めて多しと聞く尚今回歐洲戰亂の生める經驗に鑑み講義全部を改正し新時勢に伴ふ工業の新科目を増加せり、全文總振假名で講義の平易親切と學科の實際的なるとを以て大好評を博しつゝあり實業に志す年若き商店銀行會社工場員女事務家に取りては立身出世の手引草なり、入會希望の方は同會にハガキで『見本』を請求されよ、無代進呈すと

投書の領分



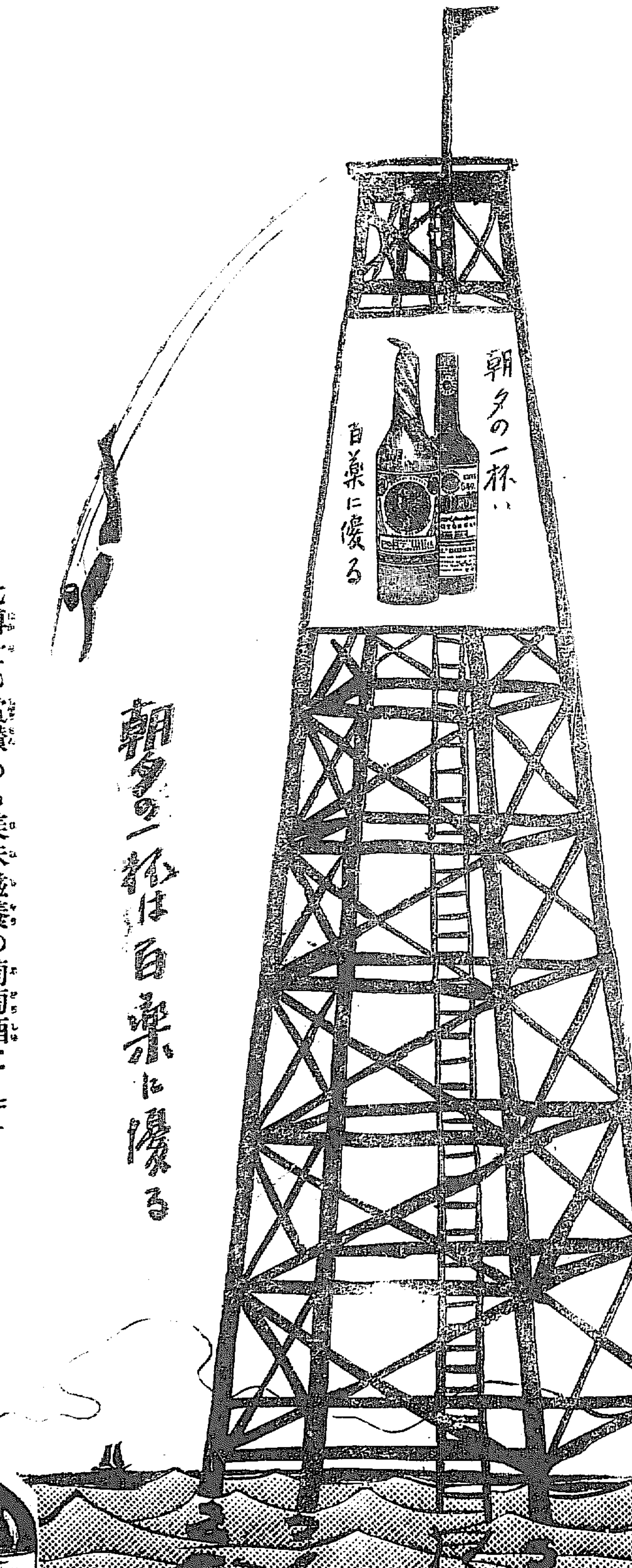
▲白薔薇の鉢植を屋外に置きたるに幹に優曇華(白色)發生せり古來より優曇華は吉凶の前兆なりとの傳説ある由識者の敎示を乞ふ(龍山生)▲京釜線某驛長は驛員を怒鳴るばかりならまだ好いが乘客や汽車通學生に對しては劍もほろゝの有様であるあれでも驛長と云はれるか注意なさい(一官吏)▲其筋よりは衛生に付き隨分八釜敷御注意が有ますが塵芥の採拾を一向に實行されず爲めに塵箱には山の如く堆積したる塵芥の中より蠅の發生甚だ敷此儘に爲し置ては危險の伴ふこと言語に絶す本欄を借りて名案を承り度候(清潔法主)▲總督府病院にて二年ほど前に交換手を勤めて居られた伊藤琴子様と云ふ方は矢張只今でも三井物産會社に勤めて居られますか御存じの方は一寸御紙上まで御知らせ下さいませ(木浦エム生)▲久方の空を仰ぐだに眩く草の葉末にそよ吹く風だに失せてあらがねの土も燃けん計りなる此頃一日の暑をしのぐ散歩には南山の如き不潔の地に行かんより郊外の地に來れ試に東小門外に行かんか濶々たる野有り潺々たる溪流有り仰げば月光爛々として新に浴せるが如く四邊寂寞として行人漸く稀なる折々たる溪流の音に和して歌はんか月光の曲しかくやと思はる友なき我は天使の如し來れ郊外の地へ共に歌はん崇二洞にて(芳水)▲夕立が降る傘を持つものは休んで晴れ間に行こうと云ひ傘を持たざる者は何に張子ぢやないと走り出す前者は有るが故に用心し後者は無きが故に虚勢を示す後者は損あるも益なし(木魚生)▲本町生様の御住所を問合せ來る人あり本欄係へ御通知を乞ふ(係)

七博士の賞讃ある美味滋養の葡萄酒

赤玉ポートワイン

夏季の健康を保全するに欠べからざる、赤玉ポートワイン

七博士の賞讃ある美味滋養の葡萄酒として今や好評賣行共に盛なる赤玉は朝夕一杯づゝ召上られて夏の健康を保全し殊に殺菌力絶大なれば氷にサイダーに混ぜて召上れば美味此上なく安心して召上られます



りん病 消渇

困る方切手三錢送れ多年の慢性にても自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代お敎へ致し升

名古屋南かじや町 武藤亀吉

笹山章著 ウツボ屋書店發行

新案獨學 イロハ辭典付

鮮語自在

ポケット形二百頁 定價五十錢(送料貳錢)

發賣元 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

京城太平町二丁目七十三(太平町大通り)

入院 隨意

片山內科醫院

片山信夫 電話一九五一番

內科 胃腸病 診察夜九時迄

京城本町一丁目

石川醫院

電話二七二〇九番 一三九一〇番

平壤京谷商店製

▲耐火煉瓦販賣

京城古市町 苦米地商店

電話九四一、三一〇八番(1) 振替京城五一三番

京城府貫鐵洞一一九番地

金漈埰內科醫院

電話二一四二一四番

京城明治町二丁目江戸川横(電話六〇三三番)

內科 小兒科

森病院

入院隨意 醫學士 森定吉

殖米輸入國別 蘭領印度五百十一萬八千 増五千 五百十六萬七千 増六千 四百四 [illegible]

調省の調査に依れば本年一月 七百三十萬餘圓 遲羅百六十一萬 十三萬四千圓の増額なり [illegible]

波斯の六隻を使役し本邦各港 布哇、桑港、香港及び孟尼剌

港に到る日米間直通航路を開始し以下本邦よりの輸出貨物及

表し來れる由なれば桑港よ [illegible]

桑港間に航海度數の増加を [illegible]

外國に於ける日本玩具は其地位 [illegible]

輸出玩具は一躍七百萬圓の上を [illegible]

こするの曙光を認めたれば此際當業者は左の條件に特に注意し

良二、原價標準の改正三、製造日限の嚴守 [illegible] 本邦玩具の [illegible] 品質の向上 [illegible] 需要地の [illegible] すべきこと